



掛川市
海岸線地域ビジョン
実施計画 (案)

令和5年 月
掛川市

目次

序章	掛川市海岸線地域ビジョンの概要	1
	1 ビジョン策定の背景・目的	1
	2 ビジョンの位置付け	1
	3 ビジョンの概要	2
	4 ビジョンの取組みの推進に向けて	6
第1章	実施計画の考え方	7
	1 実施計画策定の目的	7
	2 実施計画策定の理念	7
	3 実施計画の期間	8
	4 実施計画の進行管理	9
	5 実施計画の推進体制	9
第2章	リーディングプロジェクトの概要	10
	1 海岸線ラインと重点エリアの設定	10
	2 リーディングプロジェクト	14
第3章	実施計画の概要	16
	1 事業一覧〈海岸線17の分野〉	16
	2 プロジェクトの詳細	24
参考資料		60
	1 ワークショップの概要	60
	2 実施計画策定の経緯	68

序章 掛川市海岸線地域ビジョンの概要

1 ビジョン策定の背景・目的

平成 23（2011）年 3 月 11 日に発生した東日本大震災以降、津波被害が想定される海岸線地域は、全国的にもマイナスイメージが先行しており、その払拭のために多くの自治体でハード、ソフト両面の対策が講じられています。

掛川市では、南海トラフ巨大地震により想定される最大クラス（レベル 2）の津波により、浸水被害が想定されていることから、地震・津波による死亡者ゼロを目指し、計画延長 9.7 キロメートルの海岸林において、レベル 2 津波に対応した高さ防潮堤を嵩上げし、クロマツや広葉樹を植栽する海岸防災林強化事業「掛川モデル」を、平成 26（2014）年度より着手しています。

また、盛土や植樹などの工事から維持管理までを、市民・企業との協働と、国や県などの事業との連携、協力により行い、次代を担う若者や子どもたちが集う「掛川潮騒の杜(もり)」づくりを推進しています。

本市の海岸線地域は、遠州灘や南遠大砂丘、産業集積、砂地農業、スポーツ施設、温泉施設の存在など、総合的に高いポテンシャルがあります。これらの地域資源や魅力を整理し、将来に向け明るいビジョンを示すことで、この地域を“夢のあるエリア”とするため、令和 3（2021）年 3 月に、『掛川市海岸線地域ビジョン』（以下「ビジョン」という。）を策定しました。

ビジョンは、本市の海岸線地域が再び注目され、観光客を引きつけ、投資を呼び込むエリアとなり、もって市域全体の発展につなげていくものです。

2 ビジョンの位置付け

ビジョンの対象範囲は、概ね国道 150 号の南側としますが、市内の多くの地域・人的資源と連携して取組みを進めます。

ビジョンにより、海岸線地域のイメージがより向上するきっかけとなるとともに、産業界、民間団体、研究機関等、多くの人や団体、機関に関心を持ってもらい、議論や連携、具体的な取組みが進むことを期待しています。

そのため、今ある地域資源を大切にしたい取組みに加え、より広く 20 年後を見据えた内容としています。

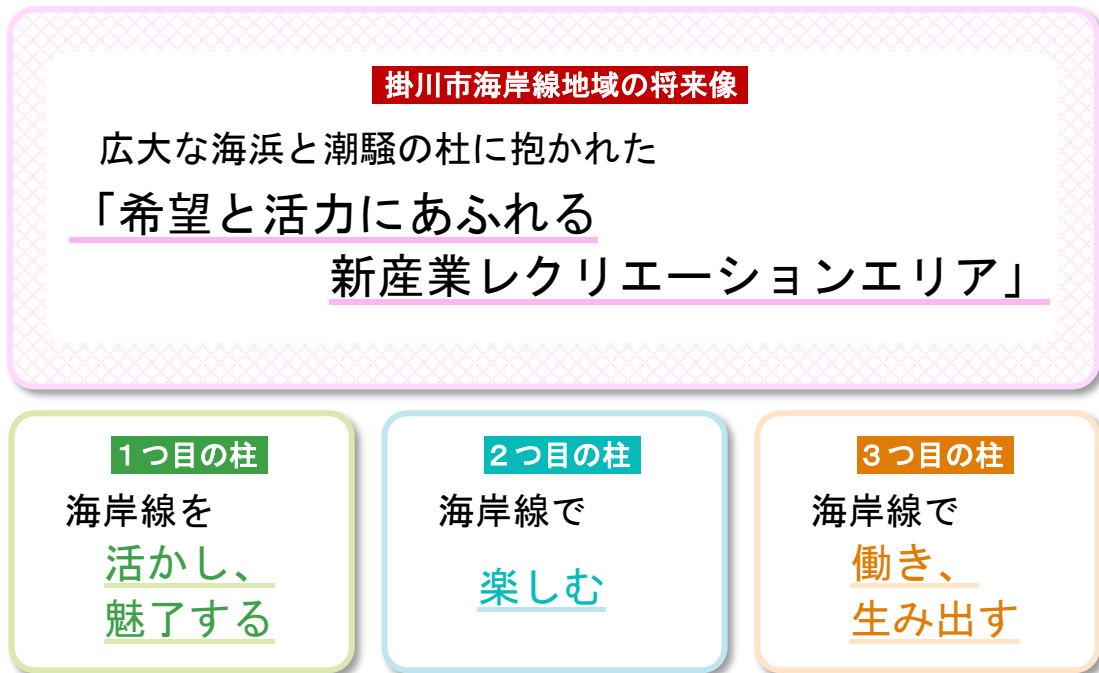
■対象範囲



3 ビジョンの概要

(1) 将来像と3つの柱

掛川市海岸線地域の「将来像」と「柱」は以下のとおりです。



(2) 3つの柱の方針

3つの柱ごとの「方針」は、以下のとおりです。

1 海岸線を 活かし、魅了する

《人を魅了する雄大な海浜と潮騒の杜のグリーンベルトの活用》

- ここにしかない遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力を発信し、人々を魅了します。
- 海岸線ならではの景観・海の幸・潮騒の杜を活かし、地域の魅力をさらに高めます。

2 海岸線で楽しむ

《スポーツ・レクリエーションのメッカとしての拠点づくり》

- スポーツ・レクリエーションをする人、みる人、すべての人が楽しめ、行きたくなるような海岸線地域を目指します。
- 次の時代を見据えたわくわくする取組みにより、海岸線で楽しんでもらえる工夫をします。

3 海岸線で働き、生み出す

《地域特性を活かしたエネルギー・産業・農業の振興》

- エネルギーや食の地産地消が注目されている中、海岸線の特性を活かしたエネルギー産業や農業の振興により、地域全体に好影響を与える海岸線地域を目指します。
- 新産業の立地促進や新しいライフスタイルの提案により、活力あふれる海岸線地域をつくり出します。

(3) 3つの柱の取組みとプロジェクト

3つの柱ごとの「取組み」と「プロジェクト」は以下のとおりです。

1 海岸線を 活かし、魅了する

《人を魅了する雄大な海浜と潮騒の杜のグリーンベルトの活用》

1-1 遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション

- ① 遠州灘と南遠大砂丘の雄大な自然の魅力を、掛川市の地域資源、観光資源として発信していきます。
- ② 自然保護団体などと協力してアカウミガメなど貴重な動植物の保護に取り組みます。
- ③ フィルムコミッション活動の推進などにより、海岸線の認知度の向上や魅力向上に繋がります。

1-2 遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出

- ① 遠州灘ならではの豊かな海の幸の魅力を発信していきます。
- ② 掛川の海は絶好の漁場、釣り場であることから、その恵みを楽しむ地引き網などの食・体験・交流の場を創出していきます。
- ③ 近隣施設との相乗効果により、大東マリーナのさらなる利活用を促進していきます。

1-3 美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む

- ① 有事の際には防災林となり、平時は潮騒の杜サポーター制度などを活用し、市民・企業・行政の協働で杜を育て、多くの人が集い、楽しむ杜にしていきます。
- ② 市民や企業と協働し、海岸に漂着したごみを拾うなど、美しい海岸を守っていきます。

1-4 正確な情報と森の防潮堤「掛川潮騒の杜」で不安を払拭

- ① 静岡県津波浸水想定などの正確な情報や、掛川潮騒の杜の整備効果を周知し、南部地域全体に及ぶ不安を取り除きます。

2 海岸線で楽しむ

《スポーツ・レクリエーションのメッカとしての拠点づくり》

2-1 海岸エリアのシンボル「大東温泉」の民間活力による再生

- ①海岸エリアのシンボル「大東温泉」の譲渡先を早期に決定し、民間の力を最大限活用した再生を図っていきます。
- ②「温泉が出る」という利点、さらには、海岸や運動公園、マリンスポーツ、オートキャンプ場、自転車道などの地域資源との相乗効果で売り出していきます。
- ③海岸線地域に少ない宿泊施設、オートキャンプ場の充実を検討していきます。

2-2 日本を代表するサイクリングロードの整備・活用

- ①掛川潮騒の杜の整備に合わせて自転車道を再整備し、日本を代表するサイクリングのメッカにしていきます。
- ②サイクリストが集えるよう「バイク・フレンドリー・ステーション」の設置拡大や民間施設と連携したサイクリストへのサービス拡充を目指します。

2-3 掛川潮騒の杜のレクリエーション化

- ①掛川潮騒の杜について、子ども達の遊び場や公園となるよう、アスレチック施設などの整備を検討していきます。
- ②掛川潮騒の杜の管理道について、自転車道として活用していくほか、ジョギング・マラソンコースなどスポーツ・レクリエーションの場として活用していきます。
- ③防潮堤の壁面をアートやスポーツ・レクリエーションの場として活用していきます。

2-4 日本のマリンスポーツのメッカへ

- ①日本SUP協会、掛川市スポーツ協会、サーフボードショップ等と連携して、遠州灘全体をマリンスポーツのメッカとして売り出していきます。
- ②だれもが安全・安心にマリンスポーツを楽しめるよう魅力的なプログラムの充実と環境整備に取り組んでいきます。

2-5 多彩なスポーツ施設のリニューアルと有効活用

- ①公共施設マネジメント、スポーツや地域振興、健康増進などの総合的な観点により、多彩なスポーツ施設のリニューアルを進めていきます。
- ②スポーツ施設だけでなく、大東温泉やオートキャンプ場など周辺施設と合わせ、民間活力の導入も検討しながら一体的な整備や活用を検討していきます。

3 海岸線で 働き、生み出す

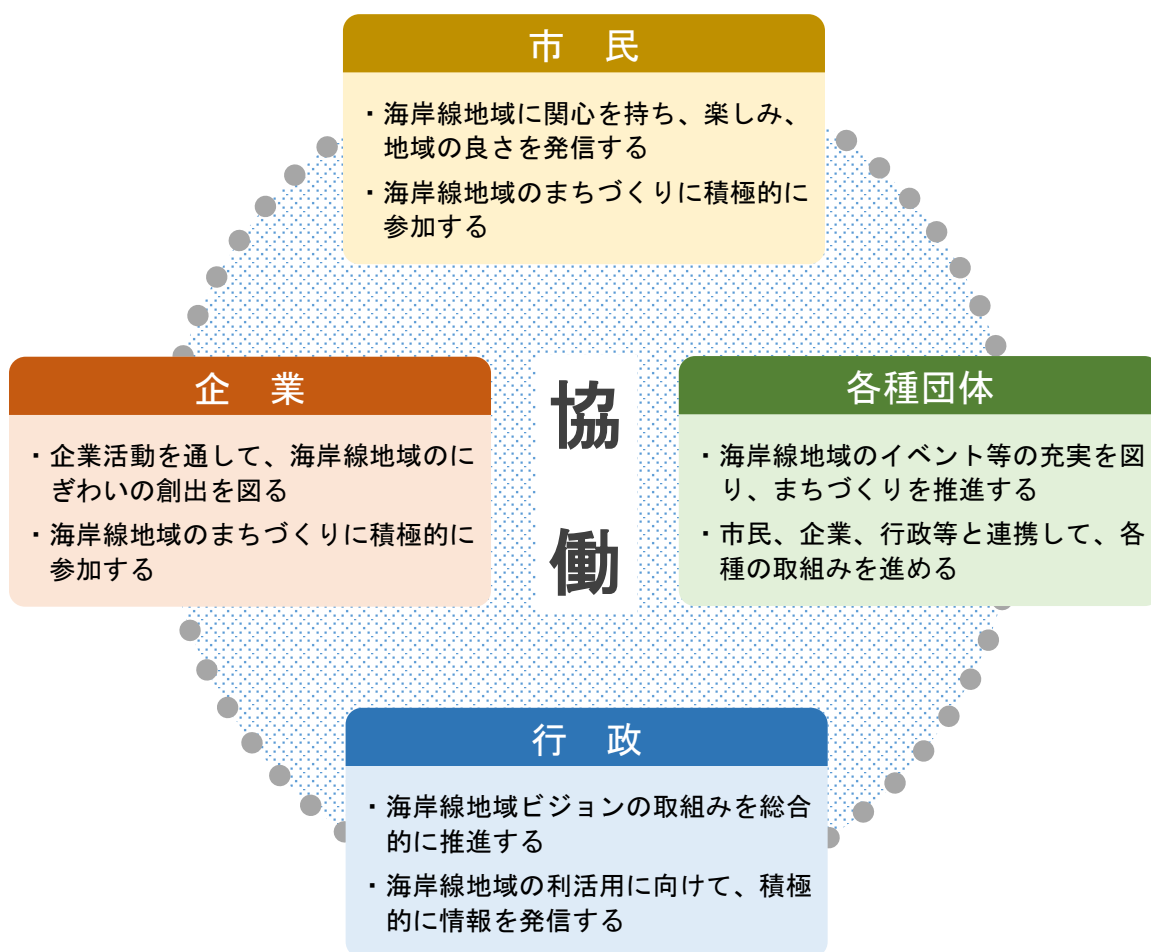
《地域特性を活かしたエネルギー・産業・農業の振興》

3-1 太陽光・風力などの再生可能エネルギーの利活用の促進
① 海岸線地域の自然環境に配慮しつつ、温室効果ガスの削減という大局的な見地から、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利活用を進めていきます。
② 2050年脱炭素社会構築を見据え、新たなエネルギー水素に注目し、再生可能エネルギーを利用した水素製造について、技術を有する民間企業と連携して研究していきます。
3-2 地域循環共生圏における再生可能エネルギーの供給拠点化
① 地域新電力事業の取組みを推進するなかで、海岸線地域の風力や太陽光などの再生可能エネルギー施設を重要な供給拠点として活用していきます。
3-3 将来を担う産業集積エリアの継続と発展
① これまで海岸線地域の産業を支えてきている企業の操業環境や雇用確保の支援を行うとともに、将来を担う多種多様な企業の誘致を進めていきます。
② 陸上養殖、水素関連など注目される新たな産業の立地を促進していきます。
3-4 地域特性を活かした農業振興
① 農業の多面性を生かした6次産業化、グリーンツーリズムなど、コト消費の選択肢として提供し、都市と農村との交流や、海岸線に広がる多様な施設と連携することで新しいビジネス展開などに繋げていきます。
② ロボットやAI、IoTなど先端技術を活用する「スマート農業」を推進し、さらに収益性を高めていくとともに、農業の魅力化も進めます。
3-5 多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域
① 近年の社会情勢を踏まえ、二地域居住、ワーケーションなど新しいライフスタイルを提案し、海岸線地域がその拠点となることを目指します。
② 海岸線地域をはじめとする掛川市や暮らしの魅力発信により、移住・定住を推進します。
③ 魅力あるヒトを増やすことによる交流人口、関係人口の拡大を目指します。

4 ビジョンの取組みの推進に向けて

ビジョンの取組みを推進していくためには、掛川市だけでなく、市民や企業、各種団体との連携・協働が必要不可欠です。

各主体が次の役割を認識して、連携・協働することで、ビジョンの取組みを推進していきます。



第1章 実施計画の考え方

1 実施計画策定の目的

「掛川市海岸線地域ビジョン」は、今ある地域資源を大切にした取組みに加え、より広く20年後を見据えた内容となっており、取組みの実現性については、濃淡があります。

よって、ビジョンを実現するためのプロジェクトについて、地域に望まれ、地域に役立つものとなるよう地域との対話を踏まえ、具体的な内容や実施時期を示したものが『海岸線地域ビジョン実施計画』（以下「計画」という。）です。

本計画に基づき、行政・市民・企業・各種団体等が連携、協働し、必要な施策を段階的、計画的に実行していくことで、海岸線地域に人の動きが生まれ、地域住民が幸せ（Well-being）を実感し、地域への誇りや愛着（シビックプライド）、地域力が増していき、ビジョンに掲げた将来像の実現を目指します。

2 実施計画策定の理念

(1) 「成長社会」から「成熟社会」へ

少子高齢・人口減少社会、さらに Society5.0 や人生100年時代の到来にあたり、これからは人口増加を前提としたまちづくりから、既存の資源を有効に活用しながら個性や魅力を磨き上げて、暮らしの質と活力を高めるまちづくりへ転換する必要があります。

(2) ここでしかできない体験を

コロナ禍を経て、「モノ」消費から「コト」消費へ人々の関心が高まり、価値観が多様化し、幸福感をもたらす豊かな生き方（Well-being）を求める方が増えています。歴史、文化、産業、自然、人といった地域資源や地域に根付いた生活などに魅力を感じ、地域の本質に触れる体験が重要視されています。

地域資源を活かした「ここでしかできない体験」の提供により、地元や来訪者が海岸線地域の魅力に出会い、何度も訪れたいくなるようなまちづくりにつなげていきます。

(3) ハードとソフトの融合

現在整備を進めている海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」は、完成後には想定しうる最大クラスの津波に対する防潮堤として、地域の生命、財産を守り、平時には市民が憩い楽しむ「杜」となります。本事業は、減災効果を図り、市民が安全・安心に生活できる地域とするために核となる重要なプロジェクトですが、防潮堤や関連設備などを整備した

けでは、まちは元気になりません。これらのハード整備を地域資源として利活用を図り、イベントの実施や新たなコミュニティの形成などのソフト事業を融合していきます。

(4) まず動いてみる

実施計画においては、様々な取組みの中でより実現性の高い事業からスタートし、徐々に質を高め、ステップアップを目指していきます。まずは、地域の日常利用や継続的な事業の実施により、賑わいを創出し、コンテンツの質と量を拡大していきます。

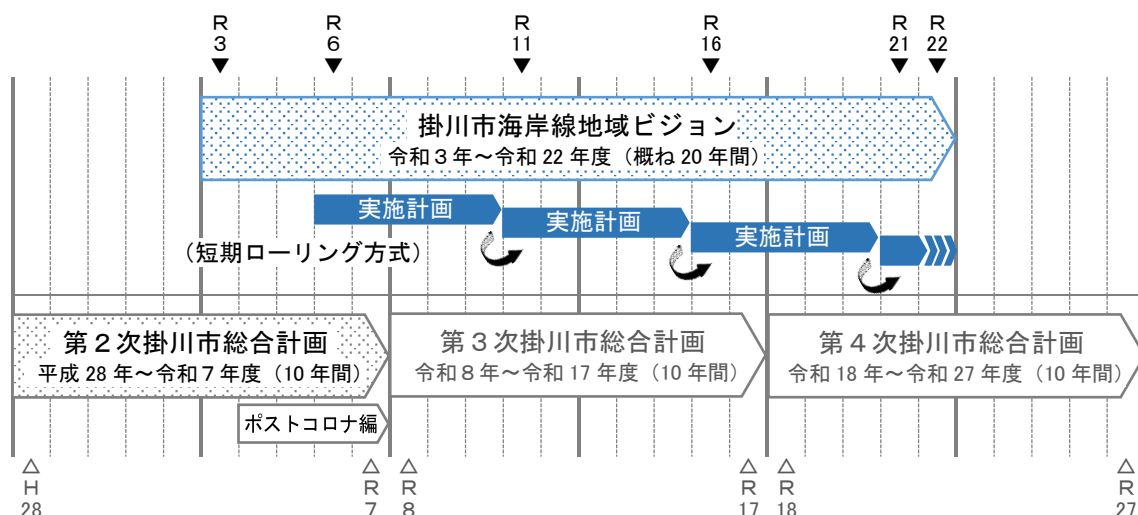
(5) 持続可能なまちづくり

「海岸線地域ビジョン」は、行政、市民、企業、各種団体が協働により、推進していきます。地域資源の利活用・保全・維持管理を一体的に行うなど、地域内で良好なサイクルを生む仕組みを整え、生涯学習都市、SDGs 未来都市として、報徳の精神に基づいた、持続可能なまちづくりを目指します。

3 実施計画の期間

本計画の対象期間は、ビジョンと同じく概ね 20 年間ですが、短・中・長期のうち、短期（5年）における目標を明確にし、戦略的に取り組みます。

また、5年毎に更新するローリング方式とし、社会情勢や市民のニーズなどの変化を考慮し、必要に応じて見直しを行います。



4 実施計画の進行管理

計画の実行性を高めるために、各実施主体において、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクル^{※1}により、進捗状況の管理と評価を行い、内容の見直しや充実に努めます。

また、VUCA^{※2}（ブーカ）時代に突入し、PDCAサイクルの各場面においては、OODA（ウーダ）ループ^{※3}の手法を相互補完的に活用し、社会情勢やニーズの変化等に柔軟・迅速に対応した進捗管理を行います。

各事業の実施にあたっては、ターゲット層が何を求めているのか、市場調査や関係者との対話を十分に行い、地域に望まれ、地域に役立つ実施内容にしていきます。

5 実施計画の推進体制

「海岸線地域ビジョン」に掲げているように、本計画は、行政、市民、自治会、地区まちづくり協議会、企業、商工・観光・文化・スポーツ・農業などの関連団体が、連携・協働しながら事業を推進します。

みなで目標を共有し、同じ方向を向き、それぞれの強みを生かしながら、コレクティブ（集合的）にトータルでインパクトを出していきます。

※1 「Plan（計画）」、「Do（実行）」、「Check（確認）」、「Act（改善）」の4段階を繰り返して業務を継続的に改善する手法のこと。

※2 「V=Volatility（変動性）」、「U=Uncertainty（不確実性）」、「C=Complexity（複雑性）」、「A=Ambiguity（曖昧性）」の頭文字をとった造語。主に「将来を予測するのが困難な時代」という意味で使われる。

※3 「Observe（観察）」、「Orient（状況判断、方向づけ）」、「Decide（意思決定）」、「Act（行動）」4つのステップを繰り返す（ループ）手法のこと。「計画」から始まるPDCAサイクルにかわり、状況の「観察」から始まるOODAループが注目されている。

第2章 リーディングプロジェクトの概要

1 海岸線ラインと重点エリアの設定

本市の海岸線地域は、遠州灘や南遠大砂丘、特徴的な砂地農業、産業の集積、様々なスポーツ施設や温泉施設の存在など、魅力ある地域資源が広がっています。

今後、総延長約 10km に渡る海岸防災林強化事業「掛川モデル」を完成させ、平常時の利活用と安全・安心対策をより効果的に実施するために、東西を横断する「海岸線ライン」の整備を推進します。

また、菊川河口周辺、大溝川河口周辺、弁財天川河口周辺をそれぞれ事業推進における東・中央・西の「海岸線重点エリア」に設定します。

本計画において、海岸線ラインと3つの重点エリアは連携・連動し、海岸線地域全体の活性化を力強く推進します。

(1) 海岸線ライン

掛川市の海岸線約10kmでは、平成26年度より、海岸防災林強化事業「掛川モデル」を展開し、次世代を担う若者や子どもたちが集う「掛川潮騒の杜」づくりを進めています。

また、掛川潮騒の杜の整備に合わせ、ナショナルサイクルルートに指定された「太平洋岸自転車道」を再整備する計画です。

安全・安心対策の実施とともに、掛川潮騒の杜の平常時の利活用を推進し、掛川市の海岸線に観光客を引きつけ、注目されるエリアとするため、海岸線ラインの整備を優先的に実施します。

(2) 海岸線重点エリア

①【東エリア】 菊川河口周辺

大東総合運動場、リバティールゾート大東温泉、大東マリーナ、ビーチスポーツ公園などの施設が集中して立地しており、市南部における、観光、レクリエーションの拠点となっています。

また、菊川河口周辺は、格好のサーフポイントとして県内外から人気があり、菊川に架かる潮騒橋（自転車歩行者専用）は、太平洋岸自転車道を走行するサイクリストのランドマークとなっています。

②【中央エリア】 大溝川河口周辺

大須賀物産センターサンサンファームやいちご、メロン、さつまいもなどの各種農業体験ができる観光農園が複数あり、多くの観光客が訪れています。

また、サンサンファームの南側は、サーフィンや海釣りのスポットとして、愛好家が集まっています。

③【西エリア】 弁財天川河口周辺

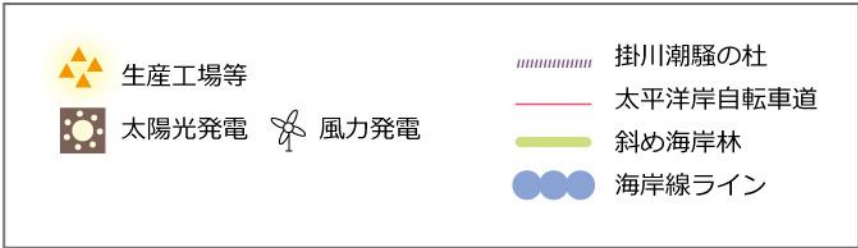
弁財天川西側の砂山は、昭和初期に日本有数の大砂丘を生かし、砂スキー場ができ、日本の「砂スキー」発祥の地となりました。かつて、河口には売店や貸しボートが並び、砂スキーや海水浴など多くの観光客で賑わっていた歴史があり、砂山がくじらに見えることから地元では「くじら山」として親しまれてきました。

昭和後期に県により弁財天海浜公園として整備され、遊歩道、自然探索路、展望台、あずまや等が設置されましたが、現在は老朽化により、一部閉鎖されています。

河口には、ハマボウをはじめとした干潟特有の動植物が生息しており、自生地が減少する中、ハマボウ群落と共にヨシ原や干潟の広がる県下でも希少な河川となっています。

周辺の大須賀体育館跡地を含め、地元のニーズを踏まえ、今後中期的な事業展開を目指すエリアです。

■エリア位置図





高天神城跡

- リバティールゾート大東温泉
- 大須賀物産センターサンサンファーム
- 弁財天海浜公園
- 自然・アクティビティ

- 01 大東総合運動場
- 02 大東ビーチスポーツ公園
- 03 大東B&G 海洋センター艇庫
- 04 大須賀B&G 海洋センター プール
- 05 大東マリーナ

東エリア

潮騒橋

2 リーディングプロジェクト

本計画を推進するにあたり、より実効力のあるものとするために、海岸線ライン及び重点エリア内で戦略的に取り組む「リーディングプロジェクト」を掲げます。

リーディングプロジェクトは、優先的に事業を展開することで、海岸線地域ビジョンの実現に向けて計画全体を先導していく役割を担うとともに、地域全体への波及効果を期待するものです。

各エリアにおけるリーディングプロジェクトは、以下のとおりです。

(1) 海岸線ライン

事業名		柱-取組 No.
①	19 掛川潮騒の杜（防潮堤）の整備	1-3 ① (その1)
②	32 太平洋岸自転車道路の再整備	2-2 ① (その1)
③	48 海岸線を活用した スポーツイベントの開催	2-3 ② (その2)
④	55 海の安全・安心を守る	2-4 ②

(2) 【東エリア】 菊川河口周辺

事業名		柱-取組 No.
①	42 トイレの整備 43 駐車場の整備	千浜東へ駐車場、千浜西へトイレ・駐車場を整備します。 2-3 ① (その1)
②	40 森林空間・公園の整備	市有地へ森林空間などの公園を整備します。 2-3 ① (その1)
③	39 フォトスポット、展望スポットの整備	大東温泉南側にフォトスポット・展望スポットの整備を整備します。 2-3 ① (その1)
④	46 海へのアプローチ道路の整備	大東温泉から海へ直接アクセスできるアプローチ道路を整備します。 2-3 ② (その1)
⑤	58 大東ビーチスポーツ公園の整備方針決定 60 市南部地域のプールの在り方決定	大東ビーチスポーツ公園、大東・大須賀プールの方向性を決定します。 2-5 ①

(3) 【中央エリア】 大溝川河口周辺

事業名		柱-取組 No.
①	42 トイレの整備 43 駐車場の整備	大溝川河口の防潮堤背後地へトイレ・駐車場を整備します。 2-3 ① (その1)
②	40 森林空間・公園の整備	防潮堤背後地へキッチンカーや子どもが集える公園を整備します。 2-3 ① (その1)
③	47 掛川潮騒の杜周辺道路の改修	周辺施設の整備状況に併せ、市道を整備します。 2-3 ② (その1)
④	74 サンサンファームの再生	現在の観光拠点、直売所の機能だけではなく、多目的機能を有する施設への更新を図り、地域内外から目的地とされる交流拠点を目指します。 3-4 ①

(4) 【西エリア】 弁財天川河口周辺

事業名		柱-取組 No.
①	45 弁財天海浜公園の活用方法の調査	市民の憩いの場所として、より良い活用ができないか、調査・検討するとともに、景観保全を進めます。 2-3 ① (その2)

第3章 実施計画の概要

1 事業一覧〈海岸線17の分野〉

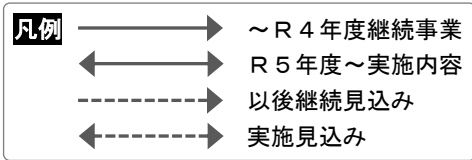
本計画の31のプロジェクトに掲載されている91の事業について、17の分野に分類、整理しています。

(1) ソフト事業（1～10分野）

分野	No.	事業（☆：リーディングプロジェクト）	想定事業費 (千円)	柱-取組No.	頁	種別			
1	シ テ ィ プ ロ モ ー シ ョ ン	1	掲載情報の内容充実	100	1-1 ①	25	継続		
		2	フォトコンテストの開催	300	1-1 ①	25	リニューアル		
		3	ドローン映像祭の開催	300	1-1 ①	25	新規		
		4	PR動画の作成	1,500	1-1 ①	25	新規		
		8	メディアを活用した情報の効果的な発信	100	1-1 ③	27	継続		
		9	ロケーション誘致活動	100	1-1 ③	27	継続		
		10	フォトブックの作成	1,700	1-1 ③	27	新規		
		11	インフルエンサーを活用した地域資源の情報発信	100	1-1 ③	27	新規		
		83	イベントカレンダーの作成	100	3-5 ⑤	59	新規		
		84	ブランドメッセージ、統一アイコンの作成	500	3-5 ⑤	59	新規		
		85	海岸線地域の「ヒト」「暮らし」をPR	100	3-5 ⑤	59	新規		
		90	地域資源の魅力を巡るイベントの実施	1,000	3-5 ⑤	59	新規		
		2	観 光	5	ハイキングマップの作成	600	1-1 ①	25	新規
				12	事業者の情報発信のサポート	100	1-2 ①	28	リニューアル
13	ガストロノミーリズムの推進			100	1-2 ①	28	新規		
14	地引網の復活、持続可能な活動支援			500	1-2 ②	29	継続		
15	地引網体験会の実施			100	1-2 ②	29	継続		
16	地引網と観光資源のコラボレーション			100	1-2 ②	29	新規		
26	大東温泉の民間活力による再生			75,300	2-1 ①	35	継続		
27	南部観光振興の拠点としての活用			100	2-1 ②	36	継続		
28	海のアクティビティの推進			100	2-1 ②	36	継続		
29	イベント開催支援、誘客			600	2-1 ②	36	継続		
30	キャンプ場の活用・情報の受発信の推進			100	2-1 ③	37	リニューアル		
31	宿泊施設と地域資源とのコラボレーション			100	2-1 ⑤	37	新規		
3	環 境			6	希少動植物の保護	100	1-1 ②	26	継続
		7	海に関する環境学習、体験活動の実施	300	1-1 ②	26	リニューアル		
		20	希望の森づくりの推進	22,000	1-3 ① 2	32	継続		
		21	松くい虫等防除事業の推進	51,000	1-3 ① 2	32	継続		
		22	市内全域！「海岸清掃」イベントの実施	10,200	1-3 ②	33	継続		

※本計画の事業年度、想定事業費などは、現時点での想定であり、確定されたものではありません。

海岸線 17 の分野は、「ほうとく 17 条」※4 に因んで題しています。



ほうとく 17 条 ▶
「こころが元気になる 17 の言葉」

	事業年度						市の窓口	WS 意見		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10				
内容見直し	→						観光交流課			
開催	→						観光交流課	●		
企画	→		開催	→				観光交流課	●	
準備	→	作成	活用・周知		→		観光交流課			
情報発信	→				強化	→	広報・シティプロモーション課	●		
依頼対応(認可許可・調整・立ち合い)・情報整理・情報発信	→						広報・シティプロモーション課	●		
予算要求	→	事業者公募・制作	→			活用	→	広報・シティプロモーション課		
	→						情報発信・周知	→	広報・シティプロモーション課	
広報調整	→		作成	→			→	生涯学習協働推進課	●	
準備	→	作成	周知・活用		→		→	生涯学習協働推進課	●	
広報調整	→		記事掲載	→			→	生涯学習協働推進課		
企画	→	実施	→			→	生涯学習協働推進課	●		
作成	→	周知・活用	→			→	観光交流課			
サポート	→		継続	→				観光交流課		
検討	→		→			実施	→	観光交流課	●	
支援	→		自立			→	観光交流課	●		
支援	→		自立			→	観光交流課	●		
支援	→		自立			→	観光交流課	●		
事業継続支援	→						資産経営課・観光交流課	●		
調整	→	実施				→	観光交流課			
情報発信	→						観光交流課			
大鳥居の設置(年末年始)	→		潮騒橋のイルミネーション(冬季)			→	観光交流課	●		
情報発信	→						観光交流課	●		
調整	→		実施			→	観光交流課			
見直し	→	実施				→	環境政策課	●		
企画	→	実施				→	環境政策課	●		
継続	→						農林課・基盤整備課	●		
継続	→						農林課	●		
継続	→						維持管理課	●		

※4 二宮尊徳の報徳思想を分かりやすくまとめたもの。17 の数字は、前向きで未来志向の姿勢、何でも良い方向へ積極的に考えるという意味があり、聖徳太子の「17 条憲法」、武士の家訓「17 条」、SDGs の「17 の目標」、俳句の伝える力 5・7・5 の「17 文字」も 17 となっている。

分野	No.	事業 (★:リーディングプロジェクト)	想定事業費 (千円)	柱-取組No.	頁	種別		
4	海の安全・安心	17	菊川河口閉塞問題の解消	100	1-2 ㊦	30	継続	
		18	大東マリーナの利活用方法検討	100	1-2 ㊦	30	新規	
		23	津波浸水想定などの周知	100	1-4 ㊦	34	新規	
		24	津波等注意喚起看板の更新、同報無線設備の改修	73,700	1-4 ㊦	34	リニューアル	
		25	津波フラッグの設置	No.19に含む	1-4 ㊦	34	新規	
		54	水辺の安全教育の実施	16,800	2-4 ㊦	47	継続	
		55	★海の安全・安心を守る	500	2-4 ㊦	47	継続	
		56	USPR掛川救難所の活動支援	100	2-4 ㊦	47	リニューアル	
5	自転車	33	自転車活用推進計画の策定	5,000	2-2 ㊦ 2	39	新規	
		34	サイクリングモデルルート of 策定・整備	100	2-2 ㊦ 2	39	リニューアル	
		35	ゆるゆる遠州ガイドライドの開催	3,000	2-2 ㊦ 2	39	継続	
		36	グルメコースの設定	100	2-2 ㊦ 2	39	新規	
6	文化・スポーツ	48	★海岸線を活用したスポーツイベントの開催	18,400	2-3 ㊦ 2	44	新規	
		49	あちこちアートプロジェクトの実施	43,000	2-3 ㊦	45	新規	
		50	マリンスポーツ大会の開催	100	2-4 ㊦	46	継続	
		51	マリンスポーツの普及、選手育成(地域クラブ化)	100	2-4 ㊦	46	リニューアル	
		52	海洋性レクリエーション指導員の養成	3,000	2-4 ㊦	46	継続	
		53	マリンスポーツ体験会の開催	6,300	2-4 ㊦	47	リニューアル	
7	エネルギー・産業	62	再生可能エネルギーの利活用促進	100	3-1 ㊦	50	継続	
		63	民間企業と連携した水素の研究	100	3-1 ㊦	51	継続	
		64	地域循環共生圏づくり	100	3-2 ㊦	52	継続	
		65	既存企業への事業継続支援	50,000	3-3 ㊦	53	継続	
		66	大坂・土方工業団地への企業誘致	100	3-3 ㊦	53	継続	
		67	企業向け遊休地や居抜き物件への企業誘致	100	3-3 ㊦	53	継続	
		68	雇用確保支援	100	3-3 ㊦	53	継続	
		69	新たな産業分野の企業誘致	100	3-3 ㊦	54	継続	
		8	農業	70	地産地消の推進	100	3-4 ㊦	55
71	生産者と企業のマッチング			100	3-4 ㊦	55	継続	
72	新規農作物の栽培、販売の促進			100	3-4 ㊦	55	継続	
73	サンサンファームや商工会による体験型イベントの開催			100	3-4 ㊦	55	リニューアル	
75	スマート農業の導入支援事業の推進			100	3-4 ㊦	56	継続	
9	移住・定住	76	二地域居住・ワーケーションの提案	100	3-5 ㊦	57	継続	
		77	ワーケーション受入施設のPR	100	3-5 ㊦	57	継続	
		78	ワーケーション整備希望企業とのマッチング	100	3-5 ㊦	57	継続	
		79	移住相談の実施	2,400	3-5 ㊦	58	継続	
		80	地域おこし協力隊による暮らしの魅力発信	6,300	3-5 ㊦	58	継続	
		81	移住希望者へのサポート	400	3-5 ㊦	58	継続	
10	協働・連携	82	庁外推進協議会の開催	600	3-5 ㊦	59	リニューアル	
		86	海岸線地域まち協同士の連携	100	3-5 ㊦	59	新規	
		87	海岸線地域と中山間地域との連携	100	3-5 ㊦	59	新規	
		88	若者のまちづくりへの参画	100	3-5 ㊦	59	新規	
		89	地元企業やSDGsパートナーとの連携	100	3-5 ㊦	59	新規	
		91	テーマ型市民活動チャレンジ事業委託の実施	1,800	3-5 ㊦	59	継続	

	事業年度						市の窓口	WS意見
	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
国交省との交渉継続							維持管理課	
検討							維持管理課	●
国協議・手続き							維持管理課	
運用開始							危機管理課	●
周知活動							危機管理課	●
県説明会							危機管理課	●
県イエローゾーン指定							危機管理課	●
移設・リニューアル							危機管理課	●
施工							基盤整備課	●
実施校の増加							文化・スポーツ振興課	●
継続協議							文化・スポーツ振興課 ほか	●
継続支援、強化							文化・スポーツ振興課	●
策定準備							文化・スポーツ振興課	●
策定							文化・スポーツ振興課	●
作成							文化・スポーツ振興課	●
周知・活用							文化・スポーツ振興課	●
継続							観光交流課	
作成							観光交流課	
周知・活用							観光交流課	
検討							文化・スポーツ振興課	●
方針決定							文化・スポーツ振興課	
実施準備							文化・スポーツ振興課	
開催							文化・スポーツ振興課	●
茶エンナーレ 2024							文化・スポーツ振興課	
茶エンナーレ 2027							文化・スポーツ振興課	
リニューアル							文化・スポーツ振興課	●
移行準備							文化・スポーツ振興課	●
地域クラブ移行							文化・スポーツ振興課	●
運営体制の設定							文化・スポーツ振興課	
見直し							文化・スポーツ振興課	
強化							文化・スポーツ振興課	
見直し							文化・スポーツ振興課	
実施							文化・スポーツ振興課	
立地促進							環境政策課	
研究							環境政策課	
地域内経済循環							環境政策課	
企業立地支援制度の活用							産業労働政策課	
企業訪問							産業労働政策課	●
ゼネコン、金融機関営業							産業労働政策課	●
インターンシップ受入、企業説明会							産業労働政策課	
企業訪問・都市部営業活動							産業労働政策課	
年1回以上「地産地消推進協議会」開催							農林課	●
生産者と企業のマッチング							農林課	
JA、直売所との連携							農林課	
直売所、商工会との連携							農林課	●
国・県事業を利用した支援事業の推進							農林課	
HPや移住サイトでのライフスタイルの提案・情報発信							広報・シティプロモーション課	
HPや移住サイトでの情報発信							観光交流課	
企業マッチング							観光交流課	
移住相談							広報・シティプロモーション課	
魅力発信							広報・シティプロモーション課	
サポート・チラシ制作(制度・補助金等)							広報・シティプロモーション課	
準備							生涯学習協働推進課	
運営							生涯学習協働推進課	
提案							生涯学習協働推進課	●
連携							生涯学習協働推進課	●
交流							生涯学習協働推進課	●
連携							生涯学習協働推進課	●
連携							生涯学習協働推進課	●
連携							生涯学習協働推進課	●
公募							生涯学習協働推進課	
事業実施							生涯学習協働推進課	

(2) ハード事業 (11~17 分野)

分野	No.	事業 (★:リーディングプロジェクト)	想定事業費 (千円)	柱-取組No.	頁	種別
11	潮騒の杜	★掛川潮騒の杜(防潮堤)の整備 (千浜)	1,620,000	1-3 ① 1	31	継続
		★ " (浜野)				
		★ " (浜川新田)				
		★ " (大溝川)				
		★ " (国安)				
	39	★フोटスポット、展望スポットの整備 (菊川左岸)	No.19 に含む	2-3 ① 1	41	新規
		★展望スポットの整備 (大溝川)	No.19 に含む			
	41	ユニバーサルデザイン歩道の整備 (菊川左岸)	No.19 に含む	2-3 ① 1	41	新規
		" (菊川右岸)	No.19 に含む			
46	★海へのアプローチ道路の整備	No.19 に含む	2-3 ② 1	43	新規	
12	32	★太平洋自転車道路の再整備 (菊川左岸)	No.19 に含む	2-2 ① 1	38	継続
		★ " (菊川左岸以外)	No.19 に含む			
	37	サイクルステーションの整備	100	2-2 ②	40	新規
	38	レンタサイクル拠点の整備	100	2-2 ②	40	新規
13	42	★トイレの整備 (千浜西)	20,000	2-3 ① 1	41	新規
		★ " (総合運動場南)	10,000			
		★トイレ・給水施設の整備 (大溝川)	No.19 に含む			
	43	★駐車場の整備 (千浜東・千浜西)	トイレ整備と併せて検討	2-3 ① 1	41	新規
		★ " (総合運動場南)	No.19 に含む			
44	★ " (大溝川)	No.19 に含む				
44	コイン式シャワールームの設置検討	100	2-3 ① 1	41	新規	
14	47	★掛川潮騒の杜周辺道路の改修	110,000	2-3 ② 1	43	新規
15	スポーツ施設	大東総合運動場の更新計画策定 (野球場・テニスコート・多目的広場・わんぱく広場)	3,300	2-5 ①	48	新規
		★大東ビーチスポーツ公園の整備方針決定	3,300	2-5 ①	48	新規
		大東艇庫の利活用検討	100	2-5 ①	48	新規
		★市南部地域のプールの在り方決定	100	2-5 ①	48	新規
		スポーツ施設と周辺施設の連携	100	2-5 ②	49	新規
16	74	★サンサンファームの再生	100	3-4 ①	55	継続
17	公園	★森林空間・公園の整備	No.19 に含む	2-3 ① 1	41	新規
		★弁財天海浜公園の活用方法の調査	500	2-3 ① 2	42	新規
想定総事業費 (ハード・ソフト事業共)			2,169,000			

	事業年度						市の窓口	WS意見
	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	県施工	市道移設					基盤整備課	●
	市施工	県施工						
	市施工		県施工					
	大溝川函渠工事		市施工	県施工				
			市(浄化C)	市(総合G)	県施工			
	施工						基盤整備課	●
			施工				基盤整備課	
	施工						基盤整備課	
	県協議 市道認定			施工			基盤整備課	
	施工						基盤整備課	●
		沈下期間	施工				基盤整備課	●
					沈下期間		基盤整備課	
	検討	調査	方向性決定	施設整備			観光交流課	●
	検討	調査	方向性決定				観光交流課	●
	設計	施工					観光交流課	●
				設計	施工		文化・スポーツ振興課	
		設計	施工				基盤整備課	
	設計	施工					観光交流課	●
			設計	施工			基盤整備課	
		設計	施工				基盤整備課、土木防災課	
	検討	調査	方向性決定	設置			観光交流課	●
	県協議	保安林解除 設計	南線施工			大淵施工	土木防災課	●
	検討	方針決定		設計	施工		文化・スポーツ振興課	●
	方針決定	設計	施工		新指定管理者による運営		文化・スポーツ振興課	●
	検討	方針決定	指定管理者公募準備		新指定管理者による運営		文化・スポーツ振興課	●
	検討	方針決定	指定管理者公募準備		新指定管理者による運営		文化・スポーツ振興課	●
	検討・施設間調整		展開				文化・スポーツ振興課	●
	検討		調整	実施			農林課	●
				施工			基盤整備課	●
	検討	調査	方向性決定	事業実施			観光交流課	●

■プロジェクト位置図



66

大坂・土方工業団地



龍崎川

菊川



東エリア

大東総合運動場

大東マリーナ

リパティリゾート

大東温泉

大東ビーチスポーツ公園

千浜西

千浜東

大東艇庫

51 52
54 55 56
59



39 41
46 49



2 プロジェクトの詳細

本計画では、海岸線地域の目指す将来像の実現に向けて、柱と取組みに基づき、31 のプロジェクトを展開します。

ここでは、それぞれのプロジェクトについて、事業目的、主体、事業内容、スケジュール等を示しています。なお、プロジェクトの内容は、時期や社会情勢等を勘案し、効率的に実施します。

プロジェクトシートの構成と見方は以下のとおりです。

■シートの構成と見方

●事業No.
海岸線 17 の分野における事業の
通し番号を示します

●柱一取組 No.
柱と取組みの番号を示します

●プロジェクト No.
プロジェクトの番号を示します

●プロジェクトの目的
プロジェクトの目的を示します

●対象エリア
対象区域を示します

●関連法令
プロジェクト実施の根拠となる
法令及び条例等を示します

●事業内容
実施するプロジェクトの内容を
示します

●具体的な施策名
プロジェクトを構成する具体的
な施策名を示します

●スケジュール
実施するプロジェクトの期間を
施策ごとに示します

●コメント
プロジェクト推進にあたる担当
課のコメントを示します

●推進主体・市の窓口・目標年度・実施状況
プロジェクトの主体、行政の窓口、目標年度、
現在の実施状況を示します

●市の窓口／想定事業費
具体的な施策を所管する課名と
想定事業費を示します

柱一取組 No.	1-1	遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション																																																			
プロジェクト No.	1	遠州灘と南遠大砂丘の雄大な自然の魅力、掛川市の地域資源、観光資源として発信していきます。																																																			
プロジェクトの目的	海岸線地域の魅力的な地域資源について、市公式ホームページや SNS、各種パンフレット等様々な媒体によって情報を拡散し、観光情報のコミュニケーション力の活性化を図り、市内外の方に魅力を知ってもらうことで、関係人口・交流人口の拡大を目指します。																																																				
対象エリア	全域	推進主体	市、民間事業者 市民、観光協会	市の窓口	観光交流課																																																
関連法令	—	目標年度	R 7	実施状況	実施中																																																
事業内容	<p>1 掲載情報の内容充実 市や観光協会等のホームページがより見やすく、探しやすく、楽しく、最新の情報を入手できるよう、内容を充実させ、こまめな情報更新を行います。SNS も内容充実に努め、他の方にも情報を伝えたいくなるような仕掛けを実施していきます。また、来訪者にスムーズな道案内ができるよう、現状に合った一般道路案内標識の更新について、関係機関へ依頼・調整していきます。</p> <p>2 フォトコンテストの開催 フォトコンテストなど、市民からも地域の魅力的な情報が活発に発信されるような事業を実施していきます。</p> <p>3 ドローン映像祭の開催 ドローン映像祭等の開催により、掛川湖の社、サーフポイント、アカウミガメの産卵地、弁財天川河口の干潟等、遠州灘の雄大な自然と環境を活かしたシティプロモーションをすることで、「豊かな海」を PR します。</p> <p>4 PR動画の作成 海岸線地域をはじめとする市内南部の観光の魅力を発信する PR 動画を作成します。</p> <p>5 ハイキングマップの作成 地元と協力し、高天神城・横須賀城を中心とした市内南部を周遊してもらえるようなマップを作成します。令和5年の大河ドラマ放映を機に、多くの方に訪れてもらえるよう地域の魅力を発信していきます。</p>																																																				
スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>具体的な施策名</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> <th>R 8</th> <th>R 9</th> <th>R 10 以降</th> <th>市の窓口 想定事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 掲載情報の内容充実</td> <td>内容見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>観光交流課 100</td> </tr> <tr> <td>2 フォトコンテストの開催</td> <td>開催</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>観光交流課 300</td> </tr> <tr> <td>3 ドローン映像祭の開催</td> <td>企画</td> <td>開催</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 PR動画の作成</td> <td>準備</td> <td>作成</td> <td>活用・周知</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 ハイキングマップの作成</td> <td>作成</td> <td>周知・活用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10 以降	市の窓口 想定事業費 (千円)	1 掲載情報の内容充実	内容見直し						観光交流課 100	2 フォトコンテストの開催	開催						観光交流課 300	3 ドローン映像祭の開催	企画	開催						4 PR動画の作成	準備	作成	活用・周知					5 ハイキングマップの作成	作成	周知・活用					
具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10 以降	市の窓口 想定事業費 (千円)																																														
1 掲載情報の内容充実	内容見直し						観光交流課 100																																														
2 フォトコンテストの開催	開催						観光交流課 300																																														
3 ドローン映像祭の開催	企画	開催																																																			
4 PR動画の作成	準備	作成	活用・周知																																																		
5 ハイキングマップの作成	作成	周知・活用																																																			
コメント	市内外の方の多くの方に関心を...																																																				

柱一取組 No.	1-1	遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション						
プロジェクト No.	①	遠州灘と南遠大砂丘の雄大な自然の魅力を、掛川市の地域資源、観光資源として発信していきます。						
プロジェクトの目的	海岸線地域の魅力的な地域資源について、市公式ホームページやSNS、各種パンフレット等様々な媒体によって情報を拡散し、観光情報のコミュニケーション力の活性化を図り、市内外の方に魅力を知ってもらうことで、関係人口・交流人口の拡大を目指します。							
対象エリア	全域	推進主体	市、民間事業者 市民、観光協会	市の窓口	観光交流課			
関連法令	—	目標年度	R 7	実施状況	実施中			
事業内容	<p>1 掲載情報の内容充実 市や観光協会等のホームページがより見やすく、探しやすく、楽しく、最新の情報を入手できるよう、内容を充実させ、こまめな情報更新を行います。 SNS も内容充実に努め、他の方にも情報を伝えたいくなるような仕掛けを実施していきます。また、来訪者にスムーズな道案内ができるよう、現状に合った一般道路案内標識の更新について、関係機関へ依頼・調整していきます。</p> <p>2 フォトコンテストの開催 フォトコンテストなど、市民からも地域の魅力的な情報が活発に発信されるような事業を実施していきます。</p> <p>3 ドローン映像祭の開催 ドローン映像祭等の開催により、掛川潮騒の杜、サーフポイント、アカウミガメの産卵地、弁財天川河口の干潟等、遠州灘の雄大な自然と環境を活かしたシティプロモーションをすることで、「豊かな海」をPRします。</p> <p>4 PR動画の作成 海岸線地域をはじめとする市内南部の観光の魅力を発信するPR動画を作成します。</p> <p>5 ハイキングマップの作成 地元と協力し、高天神城・横須賀城を中心とした市南部を周遊してもらえようようなマップを作成します。令和5年の大河ドラマ放映を機に、多くの方に訪れてもらえるよう地域の魅力を発信していきます。</p>							
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	1 掲載情報の内容充実	内容見直し						観光交流課 100
	2 フォトコンテストの開催	開催						観光交流課 300
	3 ドローン映像祭の開催	企画	開催					観光交流課 300
	4 PR動画の作成	準備	作成	活用・周知				観光交流課 1,500
5 ハイキングマップの作成	作成	周知・活用					観光交流課 600	
コメント	市内外の多くの方に関心をもっていただけるような情報発信を行います。							



柱一取組 No.	1-1	遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション						
プロジェクト No.	②	自然保護団体などと協力して、アカウミガメなど貴重な動植物の保護に取り組みます。						
プロジェクトの目的	海岸線地域は、遠州灘と砂丘の雄大な自然環境を形成しており、希少動植物も生息していることから、それらの自然景観や希少動植物を守っていきます。							
対象エリア	弁財天海浜公園 ～千浜東	推進主体	市、NPO、 民間事業者	市の窓口	環境政策課			
関連法令	静岡県 自然公園条例	目標年度	R 6	実施状況	実施中			
事業内容	<p>6 希少動植物の保護</p> <p>海岸線地域の一部は、御前崎遠州灘県立自然公園に指定されており、海岸には、ハマボウフウ、コウボウムギ、ハマエンドウなどの海浜植物が生育しています。</p> <p>また、絶滅が危惧されるアカウミガメの上陸地としても有名で、サンクチュアリエヌピーオーにより学習会などが開催されています。</p> <p>弁財天川の河口には、トビハゼやアナジャコ、ベンケイガニ、ハマボウなどの干潟特有の動植物が生息しており、自生地が減少する中、ハマボウ群落と共にヨシ原や干潟の広がる県下でも希少な河川となっています。</p> <p>掛川市としても、県立自然公園条例により、希少な動植物を保護していきます。</p>							
	<p>7 海に関する環境学習、体験活動の実施</p> <p>環境学習事業にマイクロプラスチックなどの海に関する環境問題を取り入れていくとともに、子どもたちと希少動植物の保護やアカウミガメの赤ちゃんの放流などの自然体験活動やビーチクリーン活動を実施していきます。</p>							
								
							アカウミガメの足跡と産卵した卵 (国安海岸)	
							ハマボウ (弁財天川)	
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費 (千円)
	6 希少動植物の保護	見直し	←	実施	→	→	→	環境政策課 100
コメント	7 海に関する環境学習、 体験活動の実施	企画	←	実施	→	→	→	環境政策課 300
	雄大な遠州灘と南遠大砂丘は観光資源としての価値も大きいので、引き続き、美しい自然を守っていきます。							

柱一取組 No.	1-1	遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション			
プロジェクト No.	③	フィルムコミッション活動の推進などにより、海岸線の認知度の向上や魅力向上に繋がります。			
プロジェクトの目的	掛川市の魅力の情報発信手段としてロケ地誘致を推進し、市内外の方に魅力を知ってもらい関係人口・交流人口の拡大を目指します。				
対象エリア	全域	推進主体	市、市民関係団体	市の窓口	広報・シティプロモーション課
関連法令	—	目標年度	R 7	実施状況	実施準備中

事業内容	<p>8 メディアを活用した情報の効果的な発信</p> <p>各メディアの分類及び特徴に応じて、メディアが伝えたいような情報を発信します。また、テレビ局や新聞各社など様々なメディアへ積極的に働きかけを行います。</p>
	<p>9 ロケーション誘致活動</p> <p>海岸線地域の豊かな自然のほか、城下町の風情の残る横須賀街道や高天神城・横須賀城などの文化的景観も含めた多彩なロケーション資源を国内外にアピールし、感動を与える作品づくりに協力できるまちとしてPRを行います。</p> <p>団体、企業、市民等と連携して、ロケーション誘致活動を推進します。</p> 
	<p>10 フォトブックの作成</p> <p>海岸線地域の魅力を盛り込んだロケ候補地や人気の撮影スポットを紹介するフォトブックを制作することで、掛川市の魅力を発信し、ロケ地誘致を推進します。</p>
	<p>11 インフルエンサーを活用した地域資源の情報発信</p> <p>地域おこし協力隊や輝くかけがわ応援大使、しずおか元気旅大使等のインフルエンサーを活用した情報発信や、市民による情報発信を並行して行い、市民の誇りや愛着心を醸成し、認知度や魅力の向上の強化を図ります。</p> 

スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	8 メディアを活用した情報の効果的な発信	情報発信					強化	
9 ロケーション誘致活動	依頼対応(認可許可・調整・立ち合い)・情報整理・情報発信							広報・シティプロ課 100
10 フォトブックの作成	予算要求 事業者公募・制作					活用		広報・シティプロ課 1,700
11 インフルエンサーを活用した地域資源の情報発信	情報発信・周知							広報・シティプロ課 100

コメント	ロケ地誘致活動を推進し、掛川市が3つの城が築かれ、当圏域の中心として発展してきた「歴史あるまち」であるとともに、海岸線地域の豊かな自然や観光資源をPRし、認知度向上に努めます。
------	--


柱一取組 No.	1-2	遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出						
プロジェクト No.	①	遠州灘ならではの豊かな海の幸の魅力を発信していきます。						
プロジェクトの目的	漁場としての遠州灘の魅力、遠州灘で獲れる海の幸の魅力等を発信することで、南部地域全体ににぎわいを創出します。							
対象エリア	全域	推進主体	市、観光協会 民間事業者	市の窓口	観光交流課			
関連法令	—	目標年度	R 7	実施状況	実施中			
事業内容	<p>12 事業者の情報発信のサポート</p> <p>SNSを用いて継続的に「海の幸」を提供する南部の飲食店情報を発信していきます。併せて地域の飲食店のHPやSNSがより充実し、地元で愛されている各事業者が自身の手で活発な情報発信が行えるようサポートしていきます。</p> <p>また、各種イベントにおいて、各飲食店の出店や地元グルメの積極的なPRを実施し、市内外の方に南部グルメに関心を持っていただけるよう取り組みます。</p>							
	<p>13 ガストロノミーツーリズム*の推進</p> <p>海の幸をはじめ、野菜やフルーツ、お酒、遠州横須賀の調味料「さ・し・す・せ・そ」など地域の旬な食材や料理を味わいながら、工場見学や職人体験などを通し、地域の地理・歴史・文化に触れる旅を提案します。海岸線地域に留まらず、城跡・街道など内陸部と相互に人の流れを作っていきます。</p> <p>また、地域の食材や料理を楽しめる飲食店を周遊、繰り返し利用していただけるような仕組みを検討します。</p> <p>(例：掛川まる得パスポート、スタンプラリーなど)</p> <p>* ガストロノミーツーリズム 「ガストロノミー」とは、フランス語で「美食学・美食術」の意味。 欧米で普及している旅のスタイルで、その土地を歩きながら、その土地ならではの食を楽しむ、歴史や文化を知る旅のことを示す。</p>							
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	12 事業者の情報発信のサポート		サポート	継続				観光交流課 100
コメント	13 ガストロノミーツーリズムの推進		検討		実施			観光交流課 100
	遠州灘は、釣りにも最高のスポットとなっており、多くの釣り人が訪れています。また、遠州灘で釣れた海の幸を味わえる飲食店も多数あります。そういった各所へ地元の方をはじめ、観光客の方に訪れていただけるよう働きかけていきます。							



柱一取組 No.	1-2	遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出			
プロジェクト No.	②	掛川の海は絶好の漁場、釣り場であることから、その恵みを享受する地引き網などの食・体験・交流の場を創出していきます。			
プロジェクトの目的	地元の伝統「地引網」の継承、掛川市を代表する新たな観光資源として多くの方にも楽しめるコンテンツとします。				
対象エリア	菊川河口エリア	推進主体	市、観光協会 民間事業者	市の窓口	観光交流課
関連法令	—	目標年度	R 8	実施状況	実施中

事業内容	<p>14 地引網の復活、持続可能な活動支援</p> <p>地域の地引網復活に向けた活動を支援していきます。</p> <p>また、地引網団体が、自主事業として恒久的に事業を続けていけるよう運営体制や、後継者育成等団体の活動を補助していきます。</p>					
						
スケジュール	<p>15 地引網体験会の実施</p> <p>地引網という地域の伝統を継承していくため、地域の子供を招いた体験会を実施します。また、海に馴染みのない中山間地域の学生等を招き、海、ひいては市南部への関心をもってもらおう契機なるよう働きかけます。</p>					
	<p>16 地引網と地域資源のコラボレーション</p> <p>周辺の民間事業者など関連団体と協力し、地引網×BBQ、地引網×ビーチバレー大会など、既存のプログラムとセットで楽しんでいただけるようなプランを検討していきます。</p>					

	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
スケジュール	14 地引網の復活、 持続可能な活動支援		支援		自立			観光交流課 500
	15 地引網体験会の実施		支援		自立			観光交流課 100
	16 地引網と地域資源の コラボレーション		支援		自立			観光交流課 100
コメント	地元の伝統文化を継承し、観光客をはじめ地元の皆様にも楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。							

柱一取組 No.	1-2	遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出						
プロジェクト No.	㊦	近隣施設との相乗効果により、大東マリーナのさらなる利活用を促進していきます。						
プロジェクトの目的	海岸線の拠点である「大東マリーナ」は、黒潮の影響を受ける豊かな漁場「掛川海岸」と共生し、第一次産業の発展やイベントの場として、まちづくりに貢献することを目指します。							
対象エリア	大東マリーナ	推進主体	(株)大東マリーナ	市の窓口	維持管理課			
関連法令	—	目標年度	R 7	実施状況	実施中			
事業内容	<p>17 菊川河口閉塞問題の解消</p> <p>現在、大東マリーナは偏西風の影響で、遠州灘の砂で河口が閉塞する状況に陥ります。特に寒の時期は酷く、大潮満潮時でも係留船が海に出船できないことが大きな問題となっています。一級河川菊川の河川管理者である国土交通省（浜松国道事務所平田出張所）と、河口閉塞問題の根本的な解消に向けて協議を重ねていきます。</p> <p>18 大東マリーナの利活用方法検討</p> <p>大東マリーナは、菊川本川に 60 隻以上あった不法係留船対策として、平成 4 年に建設され、第 3 セクター(株)大東マリーナ*により、供用が開始されました。</p> <p>現在は、不法係留船の問題も解消され、漁業関係者だけでなく、レジャー船等の停泊地としても利用されていますが、利用者数は、年々減少傾向にあります。</p> <p>今後は、利用ニーズに合わせ、マリンスポーツや釣り大会、救助訓練での利用など、施設が持つポテンシャルを最大限引き出す利活用方法を検討し、施設のあり方について、国土交通省と協議を進めていきます。</p> <p>* (株)大東マリーナ 代表取締役：高柳 泉 資本金：79,000,000 円 株式の引受者：掛川市（74%：1,172 株）＋民間（26%：408 株）</p>							
	 							
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10 以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	17 菊川河口閉塞問題の解消	国交省との交渉継続						維持管理課 100
18 大東マリーナの利活用方法検討	検討	国協議・手続き	運用開始					維持管理課 100
コメント	大東マリーナが利活用できるように、関係部署と協議を重ね、問題を解決できるように取り組みます。							

柱一取組 No.	1-3	美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む			
プロジェクト No.	① その1	有事の際には防災林となり、平時は潮騒の杜サポーター制度などを活用し、市民・企業・行政の協働で杜を育て、多くの人が集い、楽しむ杜にしていきます。			
プロジェクトの目的	地域の生命、財産を守るため、津波や高潮、強風などに対する減災機能を有する海岸林を作ります。				
対象エリア	弁財天川 ～千浜東	推進主体	掛川市 静岡県	市の窓口	基盤整備課
関連法令	森林法	目標年度	R 9	実施状況	実施中

19 「掛川潮騒の杜」(防潮堤)の整備
 県治山事業との連携や、様々な公共事業からの建設発生土の提供など国・県との協働により、防潮堤整備を進めていきます。



<整備後> 災害に強い新たな海岸林として生まれ変わります
 津波が発生してから、5時間決壊しない幅(20m以上)を確保



※想定される最大の津波高(レベル2津波高)に波のせり上がりを見込んで計画高さを決定。
 (図は沖之須地区整備イメージ)

スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	19 掛川潮騒の杜の整備(千浜)	県施工	市道移設					
19 (浜野)	市施工	県施工						
19 (浜川新田)		市施工	県施工					
19 (大溝川)		大溝川函渠工事	市施工	県施工				
19 (国安)			市(浄化C)	市(総合G)	県施工			

コメント 掛川潮騒の杜の整備が、市民の皆さんの安全・安心につながるよう事業を推進していきます！

柱一取組 No.	1-3	美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む						
プロジェクト No.	① その2	有事の際には防災林となり、平時は潮騒の杜サポーター制度などを活用し、市民・企業・行政の協働で杜を育て、多くの人が集い、楽しむ杜にしていきます。						
プロジェクトの目的	希望の森づくりや松くい虫等防除事業により、海岸林の持つ多面的機能の回復と松林の保護を図ります。							
対象エリア	弁財天海浜公園 ～千浜東	推進主体	掛川市、市民 静岡県、企業	市の窓口	農林課			
関連法令	森林法	目標年度	R10以降 (継続)	実施状況	実施中			
事業内容	<p>20 希望の森づくりの推進 海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」と連携し、市民・企業・行政の協働による植樹・育樹活動を実施することにより、海岸林の再生を図ります。</p> <p>21 松くい虫等防除事業の推進 静岡県との連携による薬剤散布や被害木の伐倒駆除等を実施し、斜め海岸林等として現存する松林の松くい虫による被害拡大の抑制を図ります。</p>   							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	20 希望の森づくりの推進	継続						農林課 基盤整備課 22,000
	21 松くい虫等防除事業の推進	継続						農林課 51,000
コメント	海岸林の再生と松くい虫の被害拡大抑制を図ります。							


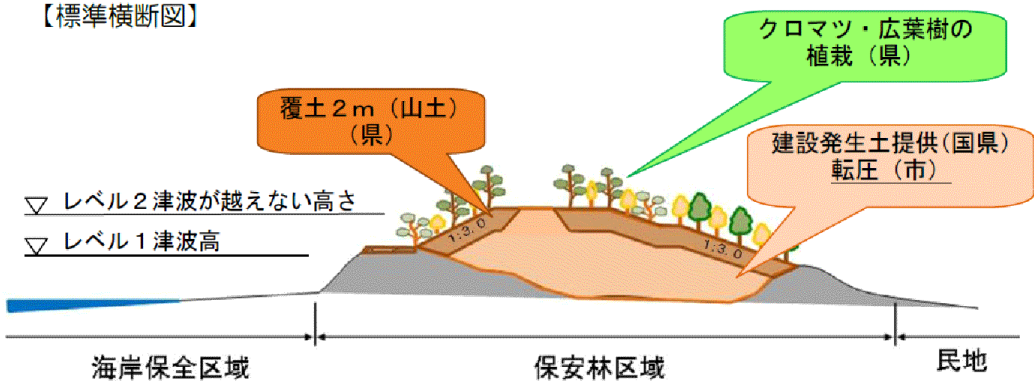
柱一取組 No.	1-3	美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む																					
プロジェクト No.	②	市民や企業と協働し、海岸に漂着したごみを拾うなど、美しい海岸を守っていきます。																					
プロジェクトの目的	掛川市の豊かな自然に恵まれた河川や海岸線を保全するため、産官学民の協働による清掃活動を実施し、快適な環境づくりの推進に取り組みます。																						
対象エリア	弁財天海浜公園 ～ 千浜東	推進主体	掛川市	市の窓口	維持管理課																		
関連法令	—	目標年度	R10以降 (継続)	実施状況	実施中																		
事業内容	<p>22 市内全域！「海岸清掃」イベントの実施</p> <p>昭和 50 年代より実施されている「海岸清掃」事業を継続して実施し、産官学民の協働により、住民一人一人の環境への配慮の意識を高め、豊かな自然を次世代に残していきます。</p> <p>(事業概要)</p> <p>(1) イベント内容 海岸線一帯のごみ拾い。参加自由。当日はゴミ回収用のコンテナを設置します。</p> <p>(2) イベント実施日 毎年、6月第1日曜日（作業日は変更になる可能性があります。）</p> <p>(3) 清掃作業場所 海岸線一帯（弁財天川河口から御前崎市境までの約 10 k m）</p> <p>(4) 協力機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係自治区（大東区域 5 地区、大須賀区域） ※大須賀区域は、隔年で参加自治区が交替となります。 ・協力企業 ・菊川市改修期成同盟会（菊川市役所） ・市内小中学校 <p style="text-align: right;">ほか</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">★Point★</p> <p style="text-align: center;">過去の活動実績</p> <table border="0"> <tr><td>(H24) 参加人数：3,565 名</td><td>ゴミ回収量：9,150kg</td></tr> <tr><td>(H25) 参加人数：5,333 名</td><td>ゴミ回収量：15,210kg</td></tr> <tr><td>(H26) 参加人数：3,575 名</td><td>ゴミ回収量：6,190kg</td></tr> <tr><td>(H27) 参加人数：5,241 名</td><td>ゴミ回収量：14,220kg</td></tr> <tr><td>(H28) 参加人数：3,335 名</td><td>ゴミ回収量：14,330kg</td></tr> <tr><td>(H29) 参加人数：5,910 名</td><td>ゴミ回収量：11,480kg</td></tr> <tr><td>(H30) 参加人数：3,359 名</td><td>ゴミ回収量：5,410kg</td></tr> <tr><td>(R1) 参加人数：4,892 名</td><td>ゴミ回収量：6810kg</td></tr> <tr><td>(R4) 参加人数：4,892 名</td><td>ゴミ回収量：6810kg</td></tr> </table> </div>					(H24) 参加人数：3,565 名	ゴミ回収量：9,150kg	(H25) 参加人数：5,333 名	ゴミ回収量：15,210kg	(H26) 参加人数：3,575 名	ゴミ回収量：6,190kg	(H27) 参加人数：5,241 名	ゴミ回収量：14,220kg	(H28) 参加人数：3,335 名	ゴミ回収量：14,330kg	(H29) 参加人数：5,910 名	ゴミ回収量：11,480kg	(H30) 参加人数：3,359 名	ゴミ回収量：5,410kg	(R1) 参加人数：4,892 名	ゴミ回収量：6810kg	(R4) 参加人数：4,892 名	ゴミ回収量：6810kg
(H24) 参加人数：3,565 名	ゴミ回収量：9,150kg																						
(H25) 参加人数：5,333 名	ゴミ回収量：15,210kg																						
(H26) 参加人数：3,575 名	ゴミ回収量：6,190kg																						
(H27) 参加人数：5,241 名	ゴミ回収量：14,220kg																						
(H28) 参加人数：3,335 名	ゴミ回収量：14,330kg																						
(H29) 参加人数：5,910 名	ゴミ回収量：11,480kg																						
(H30) 参加人数：3,359 名	ゴミ回収量：5,410kg																						
(R1) 参加人数：4,892 名	ゴミ回収量：6810kg																						
(R4) 参加人数：4,892 名	ゴミ回収量：6810kg																						
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費（千円）															
	22 「海岸清掃」 イベントの実施	継続					→	維持管理課 10,200															
コメント	地域住民のみなさまのご協力をいただきながら、美しい海岸線を守っていきます！																						

柱一取組 No.	1-4	正確な情報と森の防潮堤「掛川潮騒の杜」で不安を払拭						
プロジェクト No.	①	静岡県津波浸水想定などの正確な情報や、掛川潮騒の杜の整備効果を周知し、南部地域全体に及ぶ不安を取り除きます。						
プロジェクトの目的	掛川潮騒の杜整備により見込まれる減災効果について周知するとともに、津波等の注意喚起看板の更新や同報無線設備の改修、津波避難フラッグの設置など、掛川の海を安全・安心に利用できる環境を整備します。							
対象エリア	弁財天海浜公園～千浜東	推進主体	掛川市 静岡県	市の窓口	危機管理課 基盤整備課			
関連法令	—	目標年度	R 8	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>23 津波浸水想定などの周知</p> <p>「掛川潮騒の杜」整備により見込まれる減災効果や津波浸水想定などについて、周知していきます。</p> <p>また、「掛川潮騒の杜」は、想定される最大クラスの津波（レベル2津波）に対応できる高さに盛土し、繰り返し発生する津波により盛土が削られたとしても、津波発生から5時間の間は計画の高さを維持できる幅を確保していますが、地震・津波は自然現象で不確実性を伴うものであるため、津波の恐れがある場合は、海岸付近から「より遠く、高い場所」へただちに避難するよう、併せて周知を行います。</p> <p>24 「津波等注意喚起看板」の更新、同報無線設備の改修</p> <p>整備完成区間から「津波等の注意喚起看板」を更新していきます。 更新にあたっては、場所がわかる標記とするよう消防本部や関係課と調整し、夜間でも安全に避難できる手法の検討も行います。</p> <p>また、海岸周辺にいても緊急事態を知ることができるよう同報無線設備を改修します。</p> <p>25 津波フラッグの設置</p> <p>津波や災害発生時に、同報無線やサイレンが聞こえにくい海上のサーファーたちなどに視覚的な避難合図を出せるよう「津波避難フラッグ」を設置します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>津波等注意喚起看板 (参考) 藤沢市ホームページ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>同報無線</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>津波が来るぞ すぐ避難! —「津波フラッグ」は避難の合図—</p> <p>日本ライフセービング協会ポスター</p> </div> </div>							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	23 津波浸水想定などの周知	← 県説明会 県イエローゾーン指定		→ 周知活動				危機管理課 基盤整備課 100
	24 「津波等注意喚起看板」の更新、同報無線設備の改修			← 移設・リニューアル				危機管理課 73,700
25 津波フラッグの設置	→ 施工							基盤整備課 No.19に含む
コメント	海岸を利用する皆さんの安全・安心につながるよう周知を進めます。							

柱一取組 No.	2-1	海岸エリアのシンボル「大東温泉」の民間活力による再生						
プロジェクト No.	①	海岸エリアのシンボル「大東温泉」の譲渡先を早期に決定し、民間の力を最大限活用した再生を図っていきます。						
プロジェクト の目的	民間の力を最大限に活かし、南部地域振興を推進します。							
対象エリア	菊川河口エリア	推進主体	民間事業者 掛川市	市の窓口	資産経営課 観光交流課			
関連法令	静岡県立 自然公園条例	目標年度	R 10	実施状況	実施中			
事業内容	<p>26 大東温泉の民間活力による再生</p> <p>現行契約期間の令和 10 年 8 月以降も、地元から愛され南部観光の拠点として温泉があり続けるよう事業者、地元、関係各課が協力・調整し、事業の継続を図ります。</p> <p>また、温泉用地の今後の賃貸借契約についても関係者間で協議・調整していきます。</p> <p><施設情報></p> <p>1 名称 リバティリゾート大東温泉 2 運営者 株式会社リバティ 3 事業経過 令和 3 年 4 月 1 日 引き渡し 令和 3 年 4 月 10 日 オープン前セレモニー 令和 3 年 4 月 24 日 大東温泉フェスティバル 更新オープン 令和 3 年 7 月 ※日帰り温泉・カフェテリア「sunaba terrace」 令和 4 年 4 月 23・24 日 フリーサイトキャンプフィールド オープン 1 周年記念祭 令和 4 年 4 月 コテージ オープン 令和 4 年 8 月 ホテル オープン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>							
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10 以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	26 大東温泉の民間活力による再生						→	資産経営課 観光交流課 75,300
コメント	民間事業者の力を最大限活かし南部地域振興に貢献します。 地元の皆さまも是非温泉をご利用ください。							

柱一取組 No.	2-1	海岸エリアのシンボル「大東温泉」の民間活力による再生						
プロジェクト No.	②	「温泉が出る」という利点、さらには、海岸や運動公園、マリンスポーツ、オートキャンプ場、自転車道などの地域資源との相乗効果で売り出していきます。						
プロジェクトの目的	大東温泉を市南部振興の拠点として活用し、マリンスポーツやサイクリスポーツの愛好家をはじめ、市民や近隣の観光客が憩う場にします。							
対象エリア	菊川河口エリア	推進主体	民間事業者 掛川市	市の窓口	観光交流課			
関連法令	—	目標年度	R 8	実施状況	実施中			
事業内容	27 南部観光振興の拠点としての活用 ① イベントの開催 大東区域におけるイベント開催において、会場利用を含め、多くのイベントを大東温泉と協力して実施しています。 (イベント実施例) ・遠州灘砂の祭典(ビーチバレー：ビーチスポーツ公園) ・だいたい・おおすか軽便ロマンウォーク(ウォーキングイベント：施設南側広場他) ・SUP体験 今後も、地引網や、SUP 大会、サイクリングイベントなど様々なイベントを大東温泉と協力し、地域資源との相乗効果で売り出していきます。 ② 観光情報の発信 ・観光パンフレットやイベントチラシを配架し、市南部観光案内の拠点の一つとなるよう取り組みます。 ・地場産品を取り扱う物販コーナーや、特産品を使った飲食メニュー開発など、大東温泉が市南部の魅力発信の拠点となるよう事業者と協議していきます。							
	28 海のアクティビティの推進 海岸部ではマリンスポーツの拡充、アウトドアの充実を関係課、民間事業者と協力して取り組んでいきます。また、スポーツと温泉を合わせて楽しんでいただけるように検討していきます。							
	29 イベント開催支援、誘客 年末年始の大鳥居の設置を含め、初日の出スポットとしてPRし、誘客を進めます。 また、冬季には潮騒橋や大東温泉周辺をイルミネーション化するなど、事業者や関係団体とエリア一体での誘客について検討していきます。							
								
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	27 南部観光振興の拠点としての活用	調整		実施				観光交流課 100
	28 海のアクティビティの推進	情報発信						観光交流課 100
29 イベント開催支援、誘客	大鳥居の設置(年末年始)		潮騒橋のイルミネーション(冬季)				観光交流課 600	
コメント	魅力溢れる遠州灘に多くの方に訪れていただき、楽しんでいただけるよう整備を進めていきます。							

柱一取組 No.	2-1	海岸エリアのシンボル「大東温泉」の民間活力による再生						
プロジェクト No.	③	海岸線地域に少ない宿泊施設、オートキャンプ場の充実を検討していきます。						
プロジェクトの目的	民間の力を最大限活用し、地域資源との相乗効果で多くの観光客が訪れ、楽しむことのできる場とします。							
対象エリア	菊川河口エリア	推進主体	民間事業者 掛川市	市の窓口	観光交流課			
関連法令	—	目標年度	R 8	実施状況	実施中			
事業内容	<p>30 キャンプ場の活用・情報の受発信の推進</p> <p>SNSや季刊誌で積極的な情報発信を継続し、数少ない海岸線のキャンプ場の魅力を発信していきます。</p> <p>また、ホームページへ市内キャンプ場紹介ページを作成することで、山間部にあるキャンプ場だけでなく、海岸線にも訪れていただけるよう働きかけます。</p>							
								
スケジュール	<p>31 宿泊施設と地域資源とのコラボレーション</p> <p>温浴施設やBBQだけでなく、海岸線という立地を活かし、ホテルやキャンプ場宿泊者がマリンスポーツや地引網・地場産品などの地域資源も合わせて楽しんでもいただけるよう、事業者他関連団体と協力し、体験プログラムを整備していきます。</p>							
								
	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	30 キャンプ場の活用・情報の受発信の推進							観光交流課 100
	31 宿泊施設と地域資源とのコラボレーション							観光交流課 100
コメント	キャンプ場利用と併せて、地域資源の魅力を感じてもらえるような情報発信をしていきます。							

柱一取組 No.	2-2	日本を代表するサイクリングロードの整備・活用						
プロジェクト No.	① その1	掛川潮騒の杜の整備に合わせて自転車道を再整備し、日本を代表するサイクリングのメッカにしていきます。						
プロジェクトの目的	袋井土木事務所と協議を進め、堆砂等による被害の少ない、走行しやすい自転車道の再整備を進めます。また、観光や海岸利用の観点から、関係部局より要望がある場合は、自転車道にアクセスする管理道の整備に取り組みます。							
対象エリア	弁財天川 ～千浜東	推進主体	掛川市 静岡県	市の窓口	基盤整備課			
関連法令	森林法 道路構造令	目標年度	R11以降	実施状況	実施中			
事業内容	<p>32 太平洋岸自転車道路の再整備</p> <p>袋井土木事務所と協議を進め、堆砂等による被害の少ない、走行しやすい自転車道の再整備を進めます。</p>  <p>【標準横断図】</p> 							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	32 太平洋岸自転車道路の再整備 (菊川左岸)		沈下期間	施工				基盤整備課 No.19に含む
	32 (菊川左岸以外)						沈下期間	基盤整備課 No.19に含む
コメント	再整備された自転車道がサイクリストに喜ばれるサイクリングロードとなるよう整備を進めていきます。							

柱一取組 No.	2-2	日本を代表するサイクリングロードの整備・活用						
プロジェクト No.	① その2	掛川潮騒の杜の整備に合わせて自転車道を再整備し、日本を代表するサイクリングのメッカにしていきます。						
プロジェクトの目的	掛川市版「自転車活用推進計画」を策定し、太平洋岸自転車道の利活用や周辺の環境整備などを進めることにより、自転車を活用した魅力あるまちづくりを推進します。							
対象エリア	全域	推進主体	掛川市 関係団体	市の窓口	文化・スポーツ振興課 観光交流課			
関連法令	自転車活用 推進法	目標年度	R 8	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>33 自転車活用推進計画の策定 市の自転車に関する総合的な計画となる、「掛川市自転車活用推進計画」を策定し、「掛川市総合計画」等の上位・関連計画を取り込み、市全域を対象として、地域資源を生かした地域活性化や自転車文化の醸成を図ります。</p> <p>34 サイクリングモデルルート of 策定・整備 「掛川市自転車活用推進計画」の中で、自転車通行空間等を計画的に整備・推進することも主要施策の一つと定め、太平洋岸自転車道を市南部区域のサイクリングの基幹ルートと位置付け、市街地をはじめ、市全域を循環できるような「サイクリングモデルルート」の策定・整備を目指します。</p> <p>35 ゆるゆる遠州ガイドライドの開催 掛川市役所を発着点に、ロコサイクリストにガイドしてもらいながら遠州各地を楽しむサイクルイベント。掛川潮騒の杜を通る自転車道の魅力を活かすとともに、市内への周遊を促すコースを検討し、観光協会他関係各所と開催に向けて取り組んでいきます。</p> <p>36 グルメコースの設定 地域の名物グルメ店やスイーツ店を廻ることが出来るグルメコースを設定し、走るだけではない楽しみを提供する観光を整えます。 また、大河ドラマを機に多くの方に訪れていただけるよう、3城（掛川城、高天神城、横須賀城）を絡めたコースやイベントを計画していきます。</p>							
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10 以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	33 自転車活用推進計画の策定	策定準備	策定					文化・スポ振課 5,000
	34 サイクリングモデルルートの策定・整備			作成	周知・活用			文化・スポ振課 100
	35 ゆるゆる遠州ガイドライドの開催	継続						観光交流課 3,000
36 グルメコースの設定		作成	周知・活用				観光交流課 100	
コメント	掛川市が、全国有数の「サイクリングのメッカ」となるよう、まずは、全庁体制で「掛川市自転車活用推進計画」を策定します。サイクリングを通して海岸線地域の魅力を伝えられるようなイベント、コース設定となるよう進めていきます。							



柱一取組 No.	2-2	日本を代表するサイクリングロードの整備・活用						
プロジェクト No.	②	サイクリストが集えるよう「バイク・フレンドリー・ステーション」の設置拡大や民間施設と連携したサイクリストへのサービス拡充を目指します。						
プロジェクトの目的	自転車ラックの設置やレンタサイクル拠点を整備し、サイクリストが走りやすい環境整備に取り組みます。							
対象エリア	全域	推進主体	掛川市 民間事業者	市の窓口	観光交流課			
関連法令	—	目標年度	R 9	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>37 サイクルステーションの整備 サイクリストが休憩できるよう周辺施設などへ自転車ラックの設置を促進します。 また、地域内の既存施設が横須賀街道や高天神城など内陸部への周遊を促すための拠点や中継地点となるよう、施設のサイクルステーション化等について検討します。</p> <p>38 レンタサイクル拠点の整備 民間事業者と協力し、レンタサイクル拠点の整備、レンタサイクルの台数確保を検討していきます。</p>							
								
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	<p>37 サイクルステーションの整備</p> <p>38 レンタサイクル拠点の整備</p>	<p>← 検討 →</p> <p>← 調査 →</p> <p>← 方向性決定 →</p> <p>← 施設整備 →</p>	<p>← 検討 →</p> <p>← 調査 →</p> <p>← 方向性決定 →</p>					<p>観光交流課</p> <p>100</p> <p>観光交流課</p> <p>100</p>
コメント	掛川潮騒の杜がサイクリストの憩いの空間となるよう整備を進めていきます。							

柱一取組 No.	2-3	掛川潮騒の杜のレクリエーション化						
プロジェクト No.	① その1	掛川潮騒の杜について、子ども達の遊び場や公園となるよう、アスレチック施設などの整備を検討していきます。						
プロジェクトの目的	掛川市潮騒の杜のうち、保健保安林区間及びその周辺の森林空間が市民の憩いの場となるよう整備を進めていきます。							
対象エリア	菊川河口エリア 大溝川河口エリア	推進主体	掛川市	市の窓口	基盤整備課			
関連法令	森林法 道路構造令	目標年度	R 8	実施状況	実施準備中			
事業内容	39 フォトスポット、展望スポットの整備 掛川潮騒の杜の上から眺める壮大な遠州灘の景観をすべての人々が享受できる展望場所を整備します。また、海岸林の木陰と潮騒の音を楽しみながら散策できる散歩道を提供します。							
	40 森林空間・公園の整備 掛川潮騒の杜のうち、保健保安林区間を基軸として、その周辺や防潮堤背面の風が穏やかな区域の森林空間などを市民の憩いの場や子どもたちが遊べる広場として整備を進めていきます。							
	41 ユニバーサルデザイン歩道の整備 大東温泉及び大東総合運動場付近の潮騒の杜については、ユニバーサルデザインの歩道を設置し、すべての人々が砂浜へアクセスすることが出来る環境を整えます。							
	42 トイレの整備 トイレがおもてなしの空間となるよう掛川潮騒の杜整備により撤去となったトイレについて再整備を行うとともに、大東総合運動場南側など、潮騒の杜周辺の既存トイレについてもリニューアルを進めていきます。							
	43 駐車場の整備 同じく撤去となった駐車場については、防犯面に配慮しながら再整備を行うとともに、大溝川河口付近には、海岸防災林の整備拠点として、給水施設の整備も併せて行います。							
	44 コイン式シャワールームの設置検討 利用者の利便性向上のため、コイン式シャワールームの設置を検討します。							
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	39 フォトスポット、展望スポットの整備	→ 施工(菊川左岸)		← 施工(大溝川)				基盤整備課 No.19に含む
	40 森林空間・公園の整備				← 施工			基盤整備課 ほか No.19に含む
	41 ユニバーサルデザイン歩道の整備	→ 施工(菊川左岸)			← 施工(菊川右岸)			基盤整備課 No.19に含む
	42 トイレの整備(設計・施工)	←	千浜西	大溝川	←	総合運動場南	←	観光交流課 ほか 3,000
	43 駐車場の整備(設計・施工)	←	千浜東・千浜西	大溝川	←	総合運動場南	←	観光交流課 ほか No.19,42に含む
44 コイン式シャワールームの設置検討	← 検討	← 調査	← 方向性決定	← 設置	←	←	観光交流課 100	
コメント	掛川潮騒の杜に関連した森林空間が市民の憩いの場所となるよう整備を進めていきます。							

柱一取組 No.	2-3	掛川潮騒の杜のレクリエーション化						
プロジェクト No.	① その2	掛川潮騒の杜について、子ども達の遊び場や公園となるよう、アスレチック施設などの整備を検討していきます。						
プロジェクトの目的	弁財天海浜公園を市南部の西の玄関として、市民や近隣の観光客とともにより良い活用方法を検討します。							
対象エリア	弁財天海浜公園	推進主体	掛川市 関係団体	市の窓口	観光交流課			
関連法令	森林法 道路構造令	目標年度	R 8	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>45 弁財天海浜公園の活用方法の調査</p> <p>弁財天海浜公園は、防潮堤整備による浸水範囲に大きな変化がなく、背後地に保全人家もないことから、防潮堤整備計画の区域外となっています。また、施設の老朽化や松枯れも進んでいます。</p> <p>このため、市民の憩いの場所として、災害時の安全確保ができる体制の構築や平常時の利活用について調査・検討していきます。</p> <p>①利用状況調査</p> <p>まずは、現在の既存施設や公園内の利用状況について、どのような方に利用されていて、どのように利用されているのか、実態調査を行います。</p> <p>②活用方法の検討</p> <p>利用状況を踏まえ、地元、サーファー、釣り人等、関係者とともに、既存施設の利活用又は撤去を含め、将来的な公園全体の活用方法や維持管理の仕組み作りについて協議していきます。</p> <p>③公園の整備</p> <p>関係各所との協議を踏まえ、公園整備の方向性を決定します。 また、公園内の草刈り等、景観の保全は検討・調査期間と並行して行い、市民・企業・行政の協働による「希望の森づくり」も視野に森林再生を進めていきます。</p>							
	  							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	45 弁財天海浜公園の活用方法の調査	←→ 検討	←→ 調査	←→ 方向性決定	----- 事業実施			観光交流課 500
コメント	弁財天海浜公園が、かつてのように地域、観光客にとって憩いの場となるよう地域の皆さんと一緒に検討していきます。							

柱一取組 No.	2-3	掛川潮騒の杜のレクリエーション化						
プロジェクト No.	② その1	掛川潮騒の杜の管理道について、自転車道として活用していくほか、ジョギング・マラソンコースなどスポーツ・レクリエーションの場として活用していきます。						
プロジェクトの目的	掛川潮騒の杜管理用道路に接続する関連道路の整備について関連部局と協議し、使いやすい管理道として整備を進めます。また、海岸の観光・レクリエーションの場として活用するにあたり、一般車両に開放する管理道があるならば施設管理者及び中遠農林事務所と協議し、開放に向けて協議します。							
対象エリア	弁財天川 ～千浜東	推進主体	掛川市	市の窓口	基盤整備課			
関連法令	森林法 道路構造令	目標年度	R 8	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>46 海へのアプローチ道路の整備</p> <p>海岸を観光・レクリエーションの場として活用するにあたり、一般に開放する必要がある管理道等があれば施設管理者である中遠農林事務所と開放に向けての条件等について協議します。</p> <p>また、掛川潮騒の杜管理用道路について、既存の海岸へのアクセスを考慮した位置、設計とし、海岸保全活動にも使いやすい管理道として整備を進めます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>47 掛川潮騒の杜周辺道路の改修</p> <p>掛川潮騒の杜周辺の市道海洋公園南線や市道大渕 28 号線などについて、安全・安心な利活用が図れるよう、自転車道路や周辺施設の整備の進捗状況に合わせて改修に向けた協議・調整を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10 以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	46 海へのアプローチ道路の整備	県協議 市道認定 施工						基盤整備課 No.19 に含む
47 掛川潮騒の杜周辺道路の改修	県協議 設計 南線施工	保安林解除				大渕施工	土木防災課 基盤整備課 110,000	
コメント	掛川潮騒の杜周辺道路が地元の方や海岸利用者にとって使いやすい道路となるよう整備を進めていきます。							

柱一取組 No.	2-3	掛川潮騒の杜のレクリエーション化						
プロジェクト No.	② その2	掛川潮騒の杜の管理道について、自転車道として活用していくほか、ジョギング・マラソンコースなどスポーツ・レクリエーションの場として活用していきます。						
プロジェクトの目的	次代を担う若者や子どもたちが集い、楽しめる場を創出します。							
対象エリア	弁財天海浜公園 ～千浜東	推進主体	掛川市 民間事業者	市の窓口	文化・スポーツ振興課			
関連法令	森林法 道路構造令	目標年度	R 8 以降	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>48 海岸線を活用したスポーツイベントの開催</p> <p>地域での暮らしにうおいや安らぎを感じることができるように、またイベントや体験会への参加など若者や子どもたちが集う場として太平洋岸自転車道や潮騒橋を活用していきます。</p> <p>〈活用案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掛川潮騒の杜（太平洋岸自転車道）をコースとしたマラソン大会の開催 （例：千本浜ファミリーマラソン（沼津市）） ・掛川潮騒の杜（太平洋岸自転車道）をコースとした自転車イベントの開催 （例：ツール・ド・三陸（陸前高田市他）） ・景観を眺めながら健康増進を図るための運動、フィットネスの開催 （例：プロギング*、朝ヨガ、筋力アップトレーニング、ラジオ体操教室の実施等） <p>* plogging : 「plocka upp(拾う)」と「jogging(走る)」を合わせた造語。 ジョギングしながらゴミを拾う新しいSDGs フィットネスのこと。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>SUPヨガ体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ジョギング・マラソンコース</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>自転車イベント</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サイクリングコース</p> </div> </div>							
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10 以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	48 海岸線を活用したスポーツイベントの開催	← 検討	← 方針決定		← 実施準備	← 開催		文化・スポ振課 18,400
コメント	多くの方が、気軽に参加し、楽しむことができるイベントの実現を目指します。							

柱一取組 No.	2-3	掛川潮騒の杜のレクリエーション化						
プロジェクト No.	㊦	防潮堤の壁面をアートやスポーツ・レクリエーションの場として活用していきます。						
プロジェクトの目的	掛川潮騒の杜が、子どもや地域住民にとって親しみやすく、憩いの場となるようアートを活用し、整備します。							
対象エリア	弁財天海浜公園 ～千浜東	推進主体	掛川市 関係団体	市の窓口	文化・スポーツ振興課			
関連法令	森林法 道路構造令	目標年度	R 6	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>49 あちこちアートプロジェクトの実施</p> <p>掛川潮騒の杜を竹灯籠などの誘導灯で彩ったり、周辺にアート作品を設置したり、掛川潮騒の杜と海岸をステージとした舞台芸術を上演したりするなど、潮騒の杜全体をステージとして、子どもや地域住民にとって親しみやすい憩いの場を提供します。</p> <p>実施にあたっては、制作テーマなど、地域住民などの意見を取り入れ、地域住民参加で実施することが望ましいと考えます。「かけがわ茶エンナーレ」などの地域芸術祭の会場としても活用していきます。</p> <p>〈事例〉</p> <p>①竹灯籠で堤防を彩る</p> <p>②アートの見晴らし台の設置</p>							
								
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	49 あちこちアートプロジェクトの実施	茶エンナーレ 2024		茶エンナーレ 2027				文化・スポーツ振興課 43,000
コメント	アートの活用により、市民の憩いの場となるよう、整備に貢献します。							

柱一取組 No.	2-4	日本のマリンスポーツのメッカへ			
プロジェクト No.	①	日本SUP協会、掛川市スポーツ協会、サーフボードショップ等と連携して、遠州灘全体をマリンスポーツのメッカとして売り出していきます。			
プロジェクトの目的	関係団体との連携を強化し、市民サービスの向上及び市域でのマリンスポーツの発展、地域活性化を図ります。				
対象エリア	国安海岸を中心とした海岸全体	推進主体	掛川市 関係団体	市の窓口	文化・スポーツ振興課
関連法令	—	目標年度	R 7	実施状況	実施中

事業内容

50 マリンスポーツ大会の開催

マリンスポーツ大会等を開催することにより、地域経済の活性化と地域の魅力発信を図ります。
また、国安海岸が「SUPサーフィンの聖地」と呼ばれるよう「海のまち、掛川」の認知度向上に努めます。
(例：掛川 SUP 大会 supported by STARBOARD JAPAN)

51 マリンスポーツの普及、選手育成（地域クラブ化）

マリンスポーツのさらなる普及、選手育成につながるよう、協定締結先、業務委託者との連携を図ります。
(例：掛川海洋クラブの地域クラブ化、課外授業での SUP の実施など)

52 海洋性レクリエーション指導員の養成

指導者養成講習会等を開催し、海洋性スポーツの普及やイベント・教室の指導にご協力いただける指導者を養成します。



掛川海洋クラブ



掛川SUP大会

スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10 以降	市の窓口 想定事業費 (千円)
	50 マリンスポーツ大会の開催	リニューアル		→	→	→	→	→
51 マリンスポーツの普及、選手育成（地域クラブ化）	運営体制の設定	←	←	←	←	←	←	文化・スポ振課 100
52 海洋性レクリエーション指導員の養成	見直し	←	←	←	←	←	←	文化・スポ振課 3,000
コメント	関係機関との連携を強化し、マリンスポーツの認知度を高め、地域活性化につなげます。							

柱一取組 No.	2-4	日本のマリンスポーツのメッカへ			
プロジェクト No.	②	だれもが安全・安心にマリンスポーツを楽しめるよう魅力的なプログラムの充実と環境整備に取り組んでいきます。			
プロジェクトの目的	海を安全・安心に楽しめる環境を整備し、海洋性スポーツを通じて市民の心身の健全な発達や市民スポーツの利用機会の拡大を図り、市民の生涯スポーツ活動の振興や、海洋に関する市民の知識・理解を深めます。				
対象エリア	全域	推進主体	掛川市 関係団体	市の窓口	文化・スポーツ振興課
関連法令	—	目標年度	R 6	実施状況	実施中

事業内容	<p>53 マリンスポーツ体験会の開催</p> <p>海洋性スポーツを体験できるイベントを開催し、海洋性スポーツをより身近に感じてもらう機会とする。 (例：SUP体験会、カヌー体験会、ヨット体験会) また、マリンスポーツの活動区域において、なぜ海岸清掃が必要なのか、世界的な問題となっている「海洋ゴミ」等について考えながらクリーン活動を行うとともに、マリンスポーツの体験を通じて、水辺の安全等について啓発するイベントを実施します。 (例：大東クリーンフェスティバル)</p>	 <p>大東クリーンフェスティバル</p>
	<p>54 水辺の安全教育の実施</p> <p>マリンスポーツを通じた水難事故ゼロを目標に水辺の安全教育を行います。 (例：市内小学校へ安全指導、着衣泳、ペットボトル浮遊体験、ライフジャケット浮遊体験、水辺の安全学習アプリ利用周知)</p>	 <p>海上パトロール</p>
	<p>55 海の安全・安心を守る</p> <p>水難救助のボランティア組織「USPR掛川救難所」を中心に、水難救助や救助訓練、サーファー向けの救助方法講習会等、海の安全を守る活動を実施します。 また、船舶とサーファーの事故防止のため、関係者間で安全な海の利用について協議していきます。</p>	 <p>救助方法講習会</p>
	<p>56 USPR掛川救難所の活動支援</p> <p>県や周辺市町等と広域に連携し、USPR掛川救難所の活動支援を行います。 また、海の安全・安心強化のため、救助員の常駐化や地域の拠点づくりを検討します。</p>	

スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	53	マリンスポーツ体験会の開催	見直し	実施				
54	水辺の安全教育の実施	実施校の増加						文化・スポーツ振興課 16,800
55	海の安全・安心を守る	継続協議						文化・スポ振課、維持管理課ほか 500
56	USPR掛川救難所支援	継続支援、強化						文化・スポーツ振興課 100

コメント 海を安全・安心に楽しめる環境の整備を強化します。また、単発のイベント、体験会ではなく、継続的に参加したいと思える事業を実施していきます。

柱一取組 No.	2-5	多彩なスポーツ施設の更新と有効活用						
プロジェクト No.	①	公共施設マネジメント、スポーツや地域振興、健康増進などの総合的な観点により、多彩なスポーツ施設の更新を進めていきます。						
プロジェクトの目的	市民のスポーツ施設における利用時間の多様化や需要に応じた機能の充実などに対応するため、今後のスポーツ施設の整備方針を明確にし、施設の整備充実とスポーツ施設の効率的な利用を推進します。また学校開放の充実や、身近な場所・空間の有効活用の推進を図ります。							
対象エリア	全域	推進主体	掛川市	市の窓口	文化・スポーツ振興課			
関連法令	—	目標年度	R 7	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>57 大東総合運動場の更新計画策定 市内のスポーツ施設（主にグラウンド、テニスコート等の屋外施設）は、全般的に老朽化が目立つ状況にあるため、海岸線に近い施設はもとより、スポーツ施設全般の在り方を検討します。</p> <p>58 大東ビーチスポーツ公園の整備方針決定 掛川潮騒の杜整備により減築された大東ビーチスポーツ公園について、温泉が近くにあるというメリットを踏まえ、今後の整備方針や活用方法を決定していきます。</p> <p>59 大東艇庫の利活用検討 U S P R 掛川救難所の常駐化や地域の拠点づくりなど、既存の施設を活用した他の事業展開を検討します。</p> <p>60 市南部地域のプールの在り方決定 掛川潮騒の杜整備工事に伴い、令和6年度末をもって大東プールを閉鎖することから、市民のニーズを把握し、市南部地域のプールの在り方を検討します。 （例：B&G 財団との連携による大須賀プールのリニューアルや大東・大須賀プール統廃合、学校（小・中）の利活用の検討など）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>大東プール（大東総合運動場）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大須賀B&G海洋センター</p> </div> </div>							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	57 大東総合運動場の更新計画策定	検討	方針決定		設計	施工	新指定管理者による運営	文化・スポーツ振興課 3,300
	58 大東ビーチスポーツ公園の整備方針決定	方針決定	設計	施工		新指定管理者による運営	文化・スポーツ振興課 3,300	
	59 大東艇庫の利活用検討	検討	方針決定	指定管理者公募準備		新指定管理者による運営	文化・スポーツ振興課 100	
	60 市南部地域のプールの在り方決定	検討	方針決定	指定管理者公募準備		新指定管理者による運営	文化・スポーツ振興課 100	
コメント	現状の課題を整理し、よりよいスポーツ施設となるよう、議論を重ねて検討します。							

柱一取組 No.	2-5	多彩なスポーツ施設の更新と有効活用						
プロジェクト No.	②	スポーツ施設だけでなく、大東温泉やオートキャンプ場など周辺施設と合わせ、民間活力の導入も検討しながら一体的な整備や活用を検討していきます。						
プロジェクトの目的	菊川河口にある施設が一体となり、民間活力の導入も検討しながら整備や活用を進め、海岸線の魅力を向上させます。							
対象エリア	菊川河口 (右左岸)	推進主体	掛川市 民間事業者	市の窓口	文化・スポーツ振興課			
関連法令	—	目標年度	R 8	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>61 スポーツ施設と周辺施設の連携</p> <p>このエリアに来訪した方々が、マリンスポーツなど様々な体験を通じて終日滞在して楽しめるような魅力的なエリアとなるよう、周辺施設と連携して取り組みます。</p> <p>○検討案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道 150 号線（マイカー、大型車）、太平洋岸自転車道（自転車）を利用する方の「休憩スポット」とするため駐車場整備や休憩施設として一体的な整備 ・マリンスポーツ、アーバンスポーツ（スケボー、3on3、BMX等）を気軽に楽しめる環境の整備 等 <p>※周辺施設（既存）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>大東ビーチスポーツ公園</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>潮騒橋</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大東総合運動場</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>リバティリゾート大東温泉</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大東 B&G 海洋センター艇庫</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>国安海の家</p> </div> </div>							
	スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10 以降
	61 スポーツ施設と周辺施設の連携	← 検討・施設間調整		← 展開		→		文化・スポーツ振興課 100
コメント	海岸線の施設が一体となって、掛川の海岸線の魅力を発信できるよう連携して取り組みます。							

柱一取組 No.	3-1	太陽光・風力などの再生可能エネルギーの利活用の促進						
プロジェクト No.	①	海岸線地域の自然環境に配慮しつつ、温室効果ガスの削減という大局的な見地から、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利活用を進めていきます。						
プロジェクトの目的	海岸線地域のポテンシャルを生かし太陽光や風力などの再生可能エネルギーの活用を進めて、温室効果ガスの削減、エネルギーの地産地消、地域経済循環などを図ります。							
対象エリア	弁財天海浜公園～千浜東	推進主体	掛川市 民間事業者	市の窓口	環境政策課			
関連法令	再エネ特措法	目標年度	R10以降	実施状況	実施中			
事業内容	<p>62 再生可能エネルギーの利活用促進</p> <p>掛川市は、日照時間が長く、積雪もないことから、太陽光発電導入の高いポテンシャルを有しています。海岸線地域は、冬場を中心に風が強く、風力発電の立地にも適しています。</p> <p>地域との共生を前提として、温室効果ガス削減に寄与する再生可能エネルギー施設の立地促進を図ります。</p> <p>また、再生可能エネルギーにより生み出された電気は地産地消し、地域経済循環につなげます。</p>							
								
								
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	62 再生可能エネルギーの利活用促進	立地促進						環境政策課 100
コメント	海岸線地域には、大型風力発電や太陽光発電施設が多数立地しています。現在は、その多くが固定価格買取制度により売電されていますが、今後、買取期限が順次終了していくため、それらの電気を地産地消し、活用していくことが望まれます。							

柱一取組 No.	3-1	太陽光・風力などの再生可能エネルギーの利活用の促進			
プロジェクト No.	②	2050年脱炭素社会構築を見据え、新たなエネルギー水素に注目し、再生可能エネルギーを利用した水素製造について、技術を有する民間企業と連携して研究していきます。			
プロジェクトの目的	次世代のエネルギーの一つとされる水素の活用を企業と連携して進めることにより、カーボンニュートラルや地域産業の活性化につなげていきます。				
対象エリア	弁財天海浜公園～千浜東	推進主体	掛川市 民間事業者	市の窓口	環境政策課
関連法令	—	目標年度	R10以降	実施状況	実施準備中

63 民間企業と連携した水素の研究

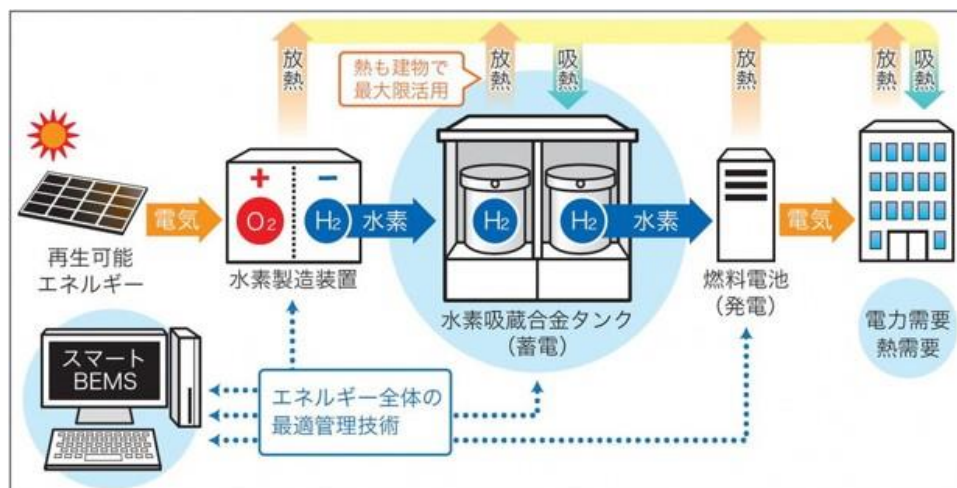
水素は、利用時に二酸化炭素を排出せず、社会の脱炭素化に重要な役割を果たすと期待されており、貯蔵が容易なため、再生可能エネルギーの大量導入を支える柱としても期待されています。

市内には、水素ディスペンサーのメーカーがあり、令和4年度に水素先端技術センターを開設しました。今後、水素はエネルギーとして利用拡大が見込まれることから、技術を有する民間企業と連携を深めていきます。

将来的には、海岸線地域の風力や太陽光の再生可能エネルギーを利用して水素を製造することも考えられます。

(下図は清水建設ホームページからの参考図)

事業内容



スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	63 民間企業と連携した水素の研究	研究						環境政策課 100
コメント	カーボンニュートラルに向かって、水素の利活用は拡大していくことが想定されているため、掛川市としてもこれらの動きを地域産業の活性化につなげていきます。							

柱一取組 No.	3-2	地域循環共生圏における再生可能エネルギーの供給拠点化						
プロジェクト No.	①	地域新電力事業の取組みを推進するなかで、海岸線地域の風力や太陽光などの再生可能エネルギー施設を重要な供給拠点として活用していきます。						
プロジェクトの目的	海岸線地域の風力や太陽光などの再生可能エネルギー電源を地産地消し、カーボンニュートラルや地域経済循環を図り、地域循環共生圏を確立していきます。							
対象エリア	弁財天海浜公園～千浜東	推進主体	かけがわ報徳パワー掛川市、民間事業者	市の窓口	環境政策課			
関連法令	—	目標年度	R10以降	実施状況	実施中			
事業内容	<p>64 再生可能エネルギーの地産地消による「地域循環共生圏づくり」</p> <p>令和2年度に地域新電力「かけがわ報徳パワー」を設立し、令和3年度から公共施設を中心に電力供給を開始しました。</p> <p>令和3年度には、大須賀浄化センターの風力発電の余剰電力を「かけがわ報徳パワー」で購入し、公共施設に供給しています。</p> <p>今後、卒FIT（固定価格買取制度）電力が生じてくるため、エネルギーの地産地消や地域内経済循環を図る必要があります。新電力の売電による利益を地域課題解決につなげるなど、「地域循環共生圏づくり」を進めます。</p> <div style="text-align: center;"> <p>経済 エネルギーの地域内循環による産業の活性化 環境負荷の少ないまちづくり エネルギーの地域内循環による経済活性化</p> <p>環境 再生可能エネルギーの普及による地球温暖化防止</p> <p>社会 脱炭素社会に対応した社会の構築 環境に優しいまちづくりの促進 市民の環境意識向上による取組</p> <p>収益還元による地域課題の解決 多様な市民の活躍</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費（千円）
	64 地域循環共生圏づくり							環境政策課 100
コメント	電気料高騰などの問題がありますが、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギーの地産地消による地域経済循環の活性化などを進めて、掛川版地域循環共生圏を確立していきます。							





柱一取組 No.	3-3	将来を担う産業集積エリアの継続と発展						
プロジェクト No.	①	これまで海岸線地域の産業を支えてきている企業の操業環境や雇用確保の支援を行うとともに、将来を担う多種多様な企業の誘致を進めていきます。						
プロジェクトの目的	市内企業の事業継続、雇用確保を支援します。 将来性の高い企業を誘致します。							
対象エリア	全域	推進主体	掛川市	市の窓口	産業労働政策課			
関連法令	工場立地法	目標年度	R10以降 (継続)	実施状況	実施中			
事業内容	<p>65 既存企業への事業継続支援 市内既存企業を訪問し、企業立地支援制度を活用した設備投資や業態変換等をサポートするなど、既存企業の事業継続を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掛川市産業立地奨励事業費補助金 ・掛川市企業立地促進事業費補助金 ・静岡県新規産業立地事業費補助金 ・原子力発電施設等周辺地域企業立地支援給付金 <p>66 大坂・土方工業用地への企業誘致 引き続き、大坂・土方工業用地への企業誘致を行います。</p> <p>67 企業向け遊休地や居抜き物件への企業誘致 市内外企業訪問や大手ゼネコン、金融機関への営業により、企業向け遊休地や居抜き物件への企業誘致を行います。</p> <p>68 雇用確保支援 高校生のための企業説明会やインターンシップ・職場体験受入れ、しずおか就職 net を活用した情報発信などにより、企業の雇用確保について支援していきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	65 既存企業への事業継続支援	企業立地支援制度の活用						産業労働政策課 50,000
	66 大坂・土方工業用地への企業誘致	企業訪問						産業労働政策課 100
	67 企業向け遊休地や居抜き物件への企業誘致	ゼネコン、金融機関営業						産業労働政策課 100
	68 雇用確保支援	インターンシップ受入、企業説明会						産業労働政策課 100
コメント	南部地域の経済活性、雇用の維持と創出に貢献できるよう取り組みます。							

柱一取組 No.	3-3	将来を担う産業集積エリアの継続と発展						
プロジェクト No.	②	陸上養殖、水素関連など注目される新たな産業の立地を促進していきます。						
プロジェクトの目的	新たな産業分野の企業を誘致します。(医療、食品、EV、水素関連等)							
対象エリア	全域	推進主体	民間事業者	市の窓口	産業労働政策課			
関連法令	工場立地法	目標年度	R10以降(継続)	実施状況	実施中			
事業内容	<p>69 新たな産業分野の企業誘致</p> <p>前頁①を達成するための企業誘致、支援活動と同様に、進出を検討する企業情報を得て、マッチングを行います。 既存企業が新たな産業分野に業態変換する場合もあるため、企業訪問による情報収集を行います。 産業構造の変化を見据え、将来性が高い、特に重要な部品や原材料を担う企業の誘致に努めます。</p> 							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	69 新たな産業分野の企業誘致	企業訪問・都市部営業活動					→	産業労働政策課 100
コメント	進出検討企業の情報を逃さないように努めます。							

柱一取組 No.	3-4	地域特性を活かした農業振興						
プロジェクト No.	①	農業の多面性を生かした6次産業化、グリーンツーリズムなど、コト消費の選択肢として提供し、都市と農村との交流や、海岸線に広がる多様な施設と連携することで新しいビジネス展開などに繋げていきます。						
プロジェクトの目的	掛川市地産地消推進協議会において、地産地消、6次産業化、農商工連携を推進し、新たな商品の開発・販売や新しい消費行動につながるアイデアを創り出します。							
対象エリア	サンサンファーム 周辺	推進主体	掛川市 民間事業者	市の窓口	農林課			
関連法令	—	目標年度	R 6	実施状況	実施中			
事業内容	<p>70 地産地消の推進 年1回以上「掛川市地産地消推進協議会」を開催し、地産地消を推進していきます。</p> <p>71 生産者と企業のマッチング 6次産業化を目指す生産者や農商工連携を検討・実施を希望する生産者と企業とのマッチング及び支援を行います。</p> <p>72 新規農作物の栽培、販売の推進 生産者、農協及び直売所と連携し、地域の特性や消費者ニーズを踏まえた農産物生産により、品種と品数の充実に努めます。</p> <p>73 サンサンファームや商工会による体験型イベントの開催 掛川みなみ商工会による大人の職業体験ツアー「掛川みなみのマルシェ」など、地元の職人や地域資源と連携したイベントを開催し、コト消費を提供します。</p> <p>74 サンサンファームの再生 今後の施設の在り方について、現在の観光拠点、直売所の機能だけではなく、多目的機能を有する施設への更新を図り、地域内外から目的地とされる交流拠点を目指します。サンサンファームの施設を中心とし、今後の日本・地方社会の傾向に順応した高齢化社会やダイバーシティをキーワードとして、若者世代も呼び込む施策や潮騒の杜などの施設周辺の地域資源も包含した利活用を検討・調整します。</p> <p>(検討例1) 健康づくりの拠点機能を付加。 道路などの周辺環境の整備に併せ、ランニングコースやウォーキングコースを設定し、スポーツ関連団体との連携を図る。サンサンファームはその休憩施設としての機能を持たせたものを検討する。</p> <p>(検討例2) 高齢者、障がい者、認知症のケアの一端を担う拠点機能を付加。 福祉施設入所者が、サンサンファームを拠点とし、福祉施設外での活動として、周辺の耕作放棄地を利用した園芸療法を実施する。出来た作物はサンサンファームで販売し、販売手数料を入所者に還元する。</p>							
スケジュール	具体的な施策名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	70 地産地消の推進	年1回以上「地産地消推進協議会」開催						農林課
	71 生産者と企業のマッチング	生産者と企業のマッチング						農林課
	72 新規農作物の栽培、販売の推進	JA、直売所との連携						農林課
	73 サンサンファームや商工会による体験型イベントの開催	直売所、商工会との連携						農林課
	74 サンサンファームの再生	検討	調整	実施			農林課	
コメント	地産地消、6次産業化、農商工連携を推進します。							



柱一取組 No.	3-4	地域特性を活かした農業振興						
プロジェクト No.	②	ロボットや AI、IoT など先端技術を活用する「スマート農業」を推進し、さらに収益性を高めていくとともに、農業の魅力化も進めます。						
プロジェクトの目的	「スマート農業の全国展開に向けた導入支援事業」などの補助事業により、労働力不足、負担の軽減などの生産現場の課題を、先端技術で解決し、収益向上を目指します。							
対象エリア	全域	推進主体	県、市 JA、農業者	市の窓口	農林課			
関連法令	—	目標年度	R10以降	実施状況	実施中			
事業内容	<p>75 「スマート農業の全国展開に向けた導入支援事業」の推進</p> <p>(国庫補助事業)</p> <p>○作業の自動化 ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し、省力化を図ります。</p> <p>○情報共有の簡易化 位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能になるように推進していきます。</p> <p>○データの活用 ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病害虫を予測し、高度な農業経営を推進します。</p>							
								
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	75 スマート農業の全国展開に向けた導入支援事業の推進						農林課	100
コメント	スマート農業の導入により、高品質な作物の生産、作業効率性及び収益性向上を図り、魅力ある農業を推進します。							

柱一取組 No.	3-5	多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域						
プロジェクト No.	①	近年の社会情勢を踏まえ、二地域居住、ワーケーションなど新しいライフスタイルを提案し、海岸線地域がその拠点となることを目指します。						
プロジェクトの目的	二地域居住、ワーケーションを通して、海岸線地域の魅力を体験してもらうことで、交流人口の増加、移住定住につなげていきます。							
対象エリア	全域	推進主体	掛川市 民間事業者	市の窓口	広報・シティプロモーション課 観光交流課			
関連法令	—	目標年度	R10以降 (継続)	実施状況	実施中			
事業内容	<p>76 二地域居住・ワーケーションの提案</p> <p>コロナ禍をきっかけにテレワークが一般化する中、兼業・副業・フリーランス等、多様な働き方への期待が高まり、個人や企業の意識にも変化が生じています。海岸線地域には、ワーケーションに適した宿泊施設があることから、県や関係団体、事業者、市民等と連携し、サテライトオフィスやワーケーション、コワーキング、転職なき移住、二拠点居住等、施設や地域資源を活かした掛川市で実現できる「ワークスタイル」や「ライフスタイル」の提案を行います。</p> <p>77 ワーケーション受入施設のPR</p> <p>ワーケーションを検討している方に海岸線地域の宿泊施設を選んでいただけるよう、県ワーケーション特設WEBサイトで情報発信を行い、市ホームページへもワーケーション受入施設の紹介ページを整備します。</p> <p>78 ワーケーション整備希望企業とのマッチング</p> <p>国・県、受入施設と協力し、ワーケーション整備を希望する企業とのマッチングを図ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	76 二地域居住・ワーケーションの提案	→						広報・シティプロ課 100
	77 ワーケーション受入施設のPR	→						観光交流課 100
	78 ワーケーション整備希望企業とのマッチング	→						観光交流課 100
コメント	海岸線地域を含めた市の魅力と当市で実現できる豊かな暮らしの情報発信に努め、海岸線地域に賑わいを創出できるよう情報収集や関係団体・企業・市民等と連携を行います。							

柱一取組 No.	3-5	多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域			
プロジェクト No.	②	海岸線地域をはじめとする掛川市や暮らしの魅力発信により、移住・定住を推進します。			
プロジェクトの目的	移住希望者に向けた的確な情報発信や、市を広く PR するフェア等に積極的に出展する等、掛川で暮らす魅力を発信することで、当市への移住・定住の拡大を目指します。				
対象エリア	全域	推進主体	掛川市	市の窓口	広報・シティプロモーション課
関連法令	—	目標年度	R10以降(継続)	実施状況	実施中

事業内容	<p>79 移住相談の実施</p> <p>移住相談の機会として、県内外で開催する移住フェアへの出展や対面・オンラインでの移住相談を実施しています。就農や遠州灘のロケーションを活かしたマリンスポーツなどをきっかけにした二地域居住や移住の提案を行います。</p> <p>また、海岸線地域では新規就農者の受入れが活発であることから、農業研修制度の周知を積極的に行い、併せて体験談の掲載や海岸線地域での暮らしがイメージできるよう情報提供していきます。</p> <p>80 地域おこし協力隊による暮らしの魅力発信</p> <p>地域おこし協力隊の活動を通じて、若者・よそ者目線を活かし、海岸線地域の魅力を移住サイトやシティプロモーション動画、各種パンフレット、SNSで情報発信していきます。</p> <p>81 移住希望者へのサポート</p> <p>移住体験ツアーの実施や南部地域での生活がイメージできるよう移住希望者とモデルとなる移住者をつなげる等、海岸線を含めた地域資源豊かな掛川市で「自分らしい暮らし」が実現できるようサポートを行います。</p>				
	 <p>農業研修中の地域おこし協力隊</p>		 <p>地域おこし協力隊活動報告(写真展)</p>		

スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	79 移住相談の実施	移住相談	→					
80 地域おこし協力隊による暮らしの魅力発信	魅力発信	→						広報・シティプロ課 6,300
81 移住希望者へのサポート	サポート・チラシ制作(制度・補助金等)	→						広報・シティプロ課 400
コメント	移住希望者のニーズを的確に捉え、行政・企業・団体・市民等と連携し、「掛川市での暮らし」がイメージできるような情報提供・発信に努めます。							

柱一取組 No.	3-5	多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域						
プロジェクト No.	㊦	魅力あるヒトを増やすことによる交流人口、関係人口の拡大を目指します。						
プロジェクトの目的	地域資源を有効に活用しながら魅力あるヒトを増やし、暮らしの質と活力を高める成熟型のまちづくりへ転換することで、地域住民が幸せ（Well-being）を実感し、「住んで良いまち、来て見て良いまち」を目指します。							
対象エリア	全域	推進主体	市、市民、企業 各種団体等	市の窓口	生涯学習協働推進課			
関連法令	—	目標年度	R 8	実施状況	実施準備中			
事業内容	<p>82 庁外推進協議会の開催 行政・市民・企業・各種団体との連携、事業推進のため、庁外推進協議会を開催します。</p> <p>83 イベントカレンダーの作成 毎月1回は海岸線地域でイベントが行われるよう調整のうえ、イベントの見える化を行い、賑わいを創出します。</p> <p>84 海岸線地域のブランドメッセージ（キャッチフレーズ）、統一アイコンの作成 市民への周知、機運醸成のため、ブランドメッセージや統一アイコンを決定し、啓発を行います。また、所管課と調整のうえ、各施設の案内看板を統一し、わかりやすい施設案内に努めます。</p> <p>85 海岸線地域の「ヒト」「暮らし」をPR 広報かけがわ内に海岸線地域の特集コーナーを設けるなど、海岸線地域のヒトや暮らしにフォーカスし、地域のPRを行います。</p> <p>86 海岸線地域まち協同士の連携 合同会議を開催し、共同イベントを実施するなど、東西の連携により、海岸線地域全体でインパクトを出します。</p> <p>87 海岸線地域と中山間地域との連携 イベントでの交流や掛川産木材の利用など、相互の強みを知り、それぞれの地域活動に活かします。</p> <p>88 若者のまちづくりへの参画 ストリートファニチャーの制作や「掛川学び旅」の受入れなど、学校との連携も含め、若者がまちに関わる機会をつくり、誇りや愛着の醸成を図ります。</p> <p>89 地元企業やSDGsパートナーとの連携 地域の課題解決にSDGsパートナー等と連携するほか、海岸線地域を企業のCSR（社会的責任）やCSV（共有価値の創造）に活用してもらうようPRします。</p> <p>90 地域資源の魅力を巡るイベントの実施 ロゲイニング*やサイクリングなど、地元の方が地元の良さや地域資源を知る、気づくためのイベントを協働で企画します。 *ROGAINING：地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツのこと。</p> <p>91 掛川市テーマ型市民活動チャレンジ事業委託の実施 海岸線の地域資源を活用した賑わい創出につながる提案事業を支援します。</p>							
スケジュール	具体的な施策名	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降	市の窓口 想定事業費(千円)
	82 庁外推進協議会の開催	準備		運営				生涯学習協働推進課 600
	83 イベントカレンダーの作成	広報調整		作成				生涯学習協働推進課 100
	84 ブランドメッセージ、統一アイコンの作成	準備	作成		周知・活用			生涯学習協働推進課ほか 500
	85 「ヒト」「暮らし」のPR	広報調整		記事掲載				生涯学習協働推進課 100
	86 海岸線地域まち協同士の連携	提案		連携				生涯学習協働推進課 100
	87 中山間地域との連携		交流		連携			生涯学習協働推進課 100
	88 若者のまちづくりへの参画			連携				生涯学習協働推進課ほか 100
	89 地元企業やSDGsパートナーとの連携			連携				生涯学習協働推進課ほか 100
	90 地域資源の魅力を巡るイベントの実施	企画	実施					生涯学習協働推進課 1,000
91 掛川市テーマ型市民活動チャレンジ事業委託の実施	公募	事業実施					生涯学習協働推進課 1,800	
コメント	地域の皆様が海岸線地域に愛着を感じ、来訪者も含めて、海岸線地域に集まるような仕組みづくりを一緒に取り組んでいきましょう！							



参考資料

1 ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

海岸線地域ビジョンを実現化していくための「実施計画」策定にあたり、各種事業の取組や地域資源の利活用等についての意見交換を行い、地元の意向を把握し、地域に望まれ、地域に役立つ計画とすることを目的とし、「海岸線地域ビジョン実施計画策定ワークショップ」を開催しました。

(2) 開催概要

各回の概要は以下のとおりです。

■スケジュール

日 時	内 容	人数
第1回ワークショップ 於：大東市民交流センター		
令和4年9月8日(木) 19:00~20:45	○オリエンテーション ○「掛川市海岸線地域ビジョン」とは ○アイスブレイク(お題付き自己紹介) ○グループワーク 【テーマ】 「海岸線地域ビジョンについて自由に話そう」 ・ビジョンを踏まえて、提案したいこと ・ビジョンの内容についての質問、その他 ・海岸線地域が目指す姿	18名
第2回ワークショップ 於：大須賀市民交流センター		
令和4年9月21日(水) 19:00~20:45	○「リーディングプロジェクト(案)」とは ○「掛川潮騒の杜」ってどんな森? ○グループワーク 【テーマ】 「リーディングプロジェクト(案)について話そう」 ・(地図を見ながら)提案、質問、その他	19名
第3回ワークショップ 於：リバティールゾート大東温泉		
令和4年10月20日(木) 19:00~20:30	○グループワーク 【テーマ】 「地域としてできることを考えよう」 ・地元でできること・やりたいこと ・提案(補足)、質問	19名

(3) ワークショップ参加者

大東、大須賀地区の住民、自治会、活動団体等から、20名にご参加いただきました。

■参加者名簿

所 属	氏 名
千浜地区	小田 勝男
睦浜地区	中谷 明人
大坂地区	中田 繁之
土方地区	野中 三司
佐東地区	野ヶ山 智之
中地区	鈴木 裕之
みなみ商工会（大東）	藤原 龍美
大東経済研究会	谷口 和宏
掛川観光協会大東支部	杉村 一浩
掛川市海洋性レクリエーション指導員	杉浦 由佳里
大須賀第一地区	小石川 悦夫
大須賀第二地区	井口 直紀
大須賀第三地区	西山 弘
大淵地区	鈴木 浩
みなみ商工会（大須賀）	美濃部 久義
掛川観光協会大須賀支部	岡田 昇
遠州横須賀倶楽部	横山 忠志
地域おこし協力隊	芳川 翠
USPR掛川救難所	野口 貴史
静岡県サイクルツーリズム協議会	佐藤 雄一

(4) 意見の概要

各回のワークショップの詳細は、次頁以降のニュースレター参照のこと。



第1回
R4/9/8

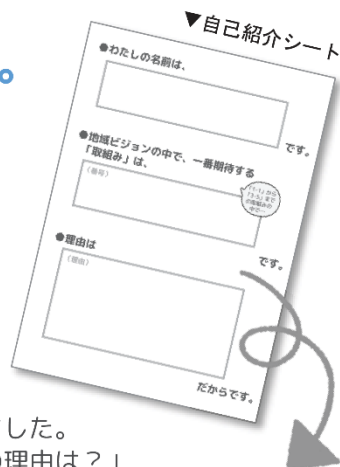
掛川市
海岸線地域ビジョン

実施計画策定ワークショップ

【発行】掛川市 協働環境部 生涯学習協働推進課 ☎ (0537) 21-1129

第1回ワークショップを開催しました。

- 日時 令和4年9月8日(木) 19:00~20:45
- 会場 大東市民交流センター
- ワーク
 - ① オリエンテーション
 - ② 「掛川市海岸線地域ビジョン」とは
 - ③ グループワーク (別紙参照)



ビジョンの「コレ、いいね」



A~Cの3グループに分かれて、ワークの前にお題付き自己紹介をしました。
お題は、「海岸線地域ビジョンの中で、一番期待する取組みは?」「その理由は?」

■集計結果

(n=18, MA)

柱の方針	取組み	回答数	割合
1 海岸線を 活かし、 魅了する	1-1 遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション (理由) ・地域の魅力向上が活動テーマだから ・海岸に大木や大きなゴミ(アルミやタイヤ)が放置されている(行政の動きが遅い)	3人	16.7%
	1-2 遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出 (理由) ・市内外から人を呼び込み観光資源に活かす ・美しい砂地は豊富な可能性がある	3人	16.7%
	1-3 美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む (理由) ・住居が海岸に近く、防潮堤の完成が一日も早く終了することに期待している	3人	16.7%
	1-4 正確な情報と森の防潮堤「掛川潮騒の杜」で不安を払拭 (理由) ・震災の影響で海岸線に近づく人たちが減ったので、大丈夫だという意識を植え付けて、人々にたくさん集まってもらいたい	3人	16.7%
2 海岸線で 楽しむ	2-1 海岸エリアのシンボル「シートピア」の民間活力による再生 (理由) ・サイクリングブームの今、大東温泉と連携して宿泊など、集客を上げていく! ・県外からも安心して来れる拠点づくり。オートキャンプ、サイクルスポーツなど ・マリンスポーツ、オートキャンプ場を体験でき、その他の取組みもできそうだから ・30年前から大東温泉の計画に携わってきたので、もっと有効活用してもらいたい	4人	22.2%
	2-2 日本を代表するサイクリングロードの整備・活用 (理由) ・日本を代表するサイクリングロード。全国から集まる ・まちづくりに自転車の活用がこれからの時代、特に重要になってくると考えているから 観光振興/環境指向/健康づくり/交流促進	3人	16.7%
	2-3 掛川潮騒の杜のレクリエーション化 (理由) ・菊川河口を中心とした河川敷のジョギングコース、ウォーキングコースの充実 ・生き生きとした子どもを育てる地域にしたい。一部だけでも遊泳ができるようになれば!	3人	16.7%
	2-4 日本のマリンスポーツのメッカへ (理由) ・他の地域であまり見ないため ・私は海に入るために移住したから、その魅力があると思う ・イベントを企画しても大東・大須賀の方は少ないです…。想像するに保護者さんが子どもを海へ近づけない、海で遊ばせないのだと思います。もっと身近に海を感じてほしい	3人	16.7%
	2-5 多彩なスポーツ施設のリニューアルと有効活用 (理由) ・人が集まるようにPRをして、話題を生むような活動を展開できれば面白いと思います	1人	5.6%
3 海岸線で 働き、 生み出す	3-1 太陽光・風力などの再生可能エネルギーの利活用の促進	0人	0.0%
	3-2 地域循環共生圏における再生可能エネルギーの供給拠点化	0人	0.0%
	3-3 将来を担う産業集積エリアの継続と発展	0人	0.0%
	3-4 地域特性を活かした農業振興 (理由) ・砂地の農産物は美味しい。掛川市南部の魅力ある産物をPRし、地場産品の魅力をもっと広めたい(食体験、交流)	2人	11.1%
	3-5 多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域	1人	5.6%

- 【テーマ】 ① 地域ビジョンを踏まえて、「提案したいこと」
 ② 地域ビジョンの内容についての「質問」
 ③ 「その他」
 ④ 海岸線地域が「目指す姿」

安全・安心

津波対策（防潮堤）

- 不安を払拭するのにマスコミを利用する必要あり
- 防潮堤整備は確実に推進してほしい
- 防潮堤の完成はいつ？
- 防潮堤があることのメリット・デメリットは？
- 防潮堤の形状や整備の方法について知りたい
- 防潮堤への展望台設置は可能？（津波発生時、一時避難所）
- どうすれば津波の不安を解消できるか

潮騒の社の活用

- 全日本ドローン映像コンクール会場はいかが？
- 防潮堤へ休憩ゾーン（日陰、水道、トイレ）の設置は可能？
- 防潮堤完成後は、リタイ温泉の上は海まで渡れるの？
- 砂防林、防潮堤の活用は可能？
- 飛砂防止の取組みは？

海の安全

- 海の安全を守る人材を常駐させる
- 海岸線入口に視覚的な「安全情報」をアピールするシステムがほしい
- 安全性を高めてほしい
- マリンスポーツ（漁船の優先）等を伝える
- 海を安全に楽しむための教育をする

治安対策

- 防潮堤で駐車場が見えず、車上荒らしが増加するのでは？治安をしっかりと！
- 防潮堤は、夜間はどうなるの？
状態になる？たまり場になるのでは？心配

交流・連携

広域連携

- 袋井市、御前崎市との（海岸線整備の）協働は？
- 広域連携の方法は？

地域間交流

- 市内小学生の児童遠足で利用する（北部は海へ、南部は山へ遠足）
- 小学校高学年はマリンスポーツの授業を考えてほしい
- 内陸側の街道（東西、南北）との連携の考え方は？

自然・環境

環境の保全

- きれいなビーチを目指してほしい
- ビーチクリーンの定期開催（マスク・ペットボトル等）
- キャンプ場利用者（県外）のマナー向上
- 砂地の整備・美化
- 弁財天海浜公園の管理及び利用度UPについて
- 今夏のビーチクリーンの際、潮騒の近くにアカウミガメの足跡、卵がありました。きれいにすればアカウミガメは来てくれる！
- 砂地の流出対策

マリンスポーツの振興

- 砂地スポーツの推進
- 海水浴ができる場所を作る
- 世界大会を誘致する
- 現状のサーファーマーはどれくらいいるの？
- ビーチバレーコートは縮小されてしまってますか？
- 大会で集客する予算を作る

海岸・河口の活用

- 地引網はなつかしい。大変良いと思う
- 菊川⇄海岸の活用方法は（ボンボン舟の運行など）
- 大須賀井財天から菊川河口まで舟で運行
- 砂浜と海を利用し花火を打ち上げたい
- 砂丘の砂を活かす

ビジョン

前提

- 海岸線エリア 海から北へ何キロまで？
- ビジョン項目が多すぎず（選択していくと思うか）
- 予算は〇〇億円あるの？

推進手法

- ビジョンの具体化手法は？（住民を巻き込む策）
- 行政を横断するプロジェクトチームがビジョン実現を後押しできる？
- 本ワークショップの着地点として「実行部隊集案事項」が作れたら
- 1、2、3の段階的取組が必要かと

大事なこと

- 良さの気づき
- 地元の人々が喜ぶ（近き者、遠き者）
- 他の市町に負けないビジョンにしたい
- 地元の人々が自慢できる仕組
- より魅力あるまちにしたい

情報発信

- このビジョンをアピールするイメージキャラがあるといいのでは？
- この情報はマスコミへは？



産業・経済

サイクリングの聖地化

- サイクリングロードの整備
- ロードバイクの駐輪スタンドの設置を進めるとよい
- 「自転車活用推進計画」の策定（国・県は法整備）
- サイクルスポーツエリアを作る（BMX、自転車での遊び）

正規のルートはどこ？

- 自転車道の飛砂の対策はどう取り組むの？
- 夏は暑い。日陰をどうやってつくるの？
- 現在のサイクリングロード利用者はどれくらい？
- 自転車道を使用⇒マラソン大会の実施は可能？

周辺施設の活用

- 大東総合運動場の有効活用
- 温泉があるので、PRを含め有効活用

歴史資源の活用

- 横須賀城と高天神社を活かす

経済の活性化

- 国道沿いのお店の出店
- 大東市街地、横須賀市街地へ人が流れる工夫
- 150号を通過するだけでなく、く、宿泊や買物ができるように
- 工場（会社）の誘致
- 飲食店の出店の誘致は？

農業の振興

- 砂地農産物のPR、生姜、スイカ、トウモロコシ、イチゴ、ウリ、大根他
- 農業地域について、無償で土地を提供できる所はあるか

新施設の整備

- マラソン大会ができるコースがほしい
- 温泉にランステ（ランニングステーション）がほしい
- スケートボードパークを作る
- 大須賀地区の住民が一同に集まるエリアを確保してほしい

目指す姿

- 安心・安全に生活できる地域
- 海と農とスポーツ（砂地+茶）とをたくみに活用したツーリズムが進んでいるエリア
- 他県から観光で来る地域
- 「生きがいを持って」地域
- 自然豊かな街と楽しみなお祭りを生かした人と人のおつきあいの深い生活
- よそもの、わかもの、ばかものが活躍できる“場”が多い地域
- 若い選手がマリンスポーツで育つ
- 海岸線と町なみをサイクリングでつなぐ
- サイクリストにやさしいまち
- 掛川市民が当たり前前に南部でござるまちづくり
- 笑顔 ○愛着を感じる ○地域交流



▲ワークショップ風景



第2回
R4/9/21

掛川市
海岸線地域ビジョン

実施計画策定ワークショップ

【発行】掛川市 協働環境部 生涯学習協働推進課 ☎ (0537) 21-1129

第2回ワークショップを開催しました。

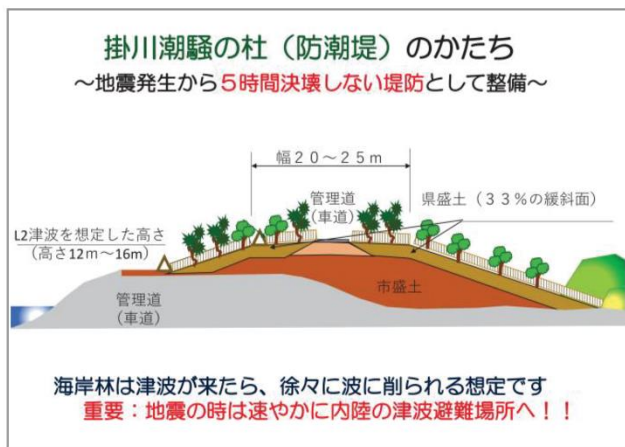
- 日時 令和4年9月21日(水) 19:00~20:45
- 会場 大須賀市民交流センター
- ワーク
 - ① 前回のふりかえり
 - ② リーディングプロジェクト(案)とは
 - ③ グループワーク(別紙参照)



▲ワークショップ風景

「掛川潮騒の杜」ってどんな森？

リーディングプロジェクトの目玉である「掛川市海岸防災林強化事業」(県：ふじのくに森の防潮堤づくり事業)の最新情報について、担当者より説明がありました。(詳細は資料参照)



掛川潮騒の杜(防潮堤)が出来ると

- ・飛砂や強風の被害が緩和される
 - ・地震の際の安全性が高まる
 - ・森林景観が回復する
 - ・海岸清掃や堆砂垣を作る作業に海側の管理道が使えるようになる
 - ・自転車道が走りやすくなる
- ・工事中の海岸利用が制限される
 - ・昔ながらの景観が変わる(海が見えなくなる所も)
 - ・海へ自由に出入られる車道が減少する
 - ・森林が回復するまでの間、飛砂や強風の影響あり
 - ・海岸林に入りやすくなるので、ゴミ投棄や火災の恐れが高まる

リーディングプロジェクト(案)について話そう

【大東温泉周辺】【サンサンファーム周辺】の2グループに分かれ、地図を見ながら、「提案」「質問」「その他」について、自由に話しました。全体に係る意見は以下の通りです。(その他意見は、別紙地図参照)

情報発信

- 海岸まで同報無線が届かない
- 防潮堤の計画を住民が理解できるようにPRすべき
- 津波フラッグや避難誘導標識など情報対策を！
- 地域情報の発信(地元でも知らないことが多い)

今後の展開

- 机上の次は、現場、現物の確認をしてはどうか

質問

- 飲食してもよいか？
- 海岸側と管理道は砂で埋まらないか？

その他

- 防潮堤で、気持ち的に海が遠くなった

協働

- 中高生(掛西など)によるプロジェクトマップ
- 小中学校、企業との食のコラボ

観光振興

- 駅伝大会の復活開催
- 凧コンクール(凧揚げ、デザイン等)
- だいたい・おおすか軽便ウォークの拡大(晴明塚、的場跡)
- 新たなにぎわいの創出
- 「シーズン」だけではなく、通年魅力的なところをしたい
- 地場産品を売りたい







第3回
R4/10/20

掛川市
海岸線地域ビジョン

実施計画策定ワークショップ

【発行】掛川市 協働環境部 生涯学習協働推進課 ☎ (0537) 21-1129

第3回ワークショップを開催しました。

- 日時 令和4年10月20日(木) 19:00~20:30
- 会場 リバティリゾート大東温泉 (sunaba terrace)
- ワーク
 - ① 前回のふりかえり
 - ② 地元でできること・やりたいことを話し合おう



▲ワークショップ風景

地元でできること・やりたいことを考えました。

市のリーディングプロジェクトと並行して、地元でできること・やりたいことについて、グループごとに話し合いました。当日は、リバティリゾート大東温泉のカフェが会場。リゾート感あふれる空間でのワークとなりました。全体に係る意見は以下の通りです。(その他意見は、別紙地図参照)

「地元でできること・やりたいこと」 「提案(補足)」 「質問」

海の安全・ルール

- 子どもへの安全啓発
- 子どもの海洋教育につながる遊び(次世代につなげる)
- 海が身近になること
- レスキュー(子ども会)
- 着衣水泳やマリンスポーツ体験授業(小学校)
→実施につなげたい
- 水上バイクは危ない
- ルールが大事、安全第一
- マナーを守る

- 「海の怖さ」PR
- 一定区域でいいので、安全に泳げるようになれば地元の人もあるのでは?
- 安全確保はしてほしい

コミュニティ

- 現代版の青年団をつくる
- 大須賀4地区のまち協を一つに(海岸線まち協)
- 周辺の美化・清掃(きれいでないと人は来ないから)

経済

- 企業誘致による人口増加

地域のプロモーション

- テレビ局に来てもらう
- 有名写真家による海の撮影
- フォトコンクール
- 海(掛川)の曲をサザンに歌ってもらう。無理なら地元歌手
- 遠州海岸Tシャツなどグッズの販売
- オートキャンプ場のPR
- リバティリゾート大東温泉と周辺の見どころも紹介
- マッコウクジラのモニュメント設置(漂着地)
- もっと地引網をPRする



◀▲意見のまとめ

海岸線地域ビジョン

- まずは一つ始めよう!(団体で一つ、個人で一つ)
- もっと若い人(Max50才)での討議が良い。老人ではダメ(小学生の子どもを持つ世代)
- 地元の人に欲しい施設をアンケート等で聞いてみては

- ビジョンのターゲットは誰? 優先順位は?

(地元への)情報発信

- 大東マリーナのPR(地元でも知らないこと)
- まずはサンサンファーム、リバティ温泉を利用してみる
- 良いとたくさん! 発信してもっと知ってほしい。知りたい若者もたくさんいる

- 知る→行かないの違い。→実際に行くちょっとしたきっかけ



◀発表風景



2 実施計画策定の経緯

(1) 策定の経緯

■策定スケジュール

日時	会議名等	主な議題等
令和4（2022）年		
5月12日（木）	海岸線地域市議との第1回意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・「海岸線地域ビジョン」の現状 ・実施計画に期待すること
8月23日（火）	海岸線地域市議との第2回意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況報告 ・ワークショップの概要
8月30日（火）	部長会	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトシート作成依頼
9月8日（木）	第1回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・「掛川市海岸線地域ビジョン」について ・海岸線地域が目指す姿
9月21日（水）	第2回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・「リーディングプロジェクト（案）」について ・プロジェクトに対する提案、質問、その他
10月18日（火）	第1回庁内推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定について ・第1回、第2回ワークショップの意見共有
10月20日（木）	第3回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・地元でできること・やりたいこと ・提案（補足）、質問
12月8日（木）	第2回庁内推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回ワークショップの意見共有 ・実施計画策定（案）について
12月12日（月）	部長会	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定（案）について
令和5（2023）年		
1月18日（水）	海岸線地域市議との第3回意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの意見共有 ・実施計画策定（案）について
3月15日（水）	第3回庁内推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定（案）について
3月28日（火）	海岸線地域市議との第4回意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定（案）について
4月4日（火）	部長会	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定（案）について
4月13日（木）	庁議	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定（案）について
5月19日（金）	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定（案）について
6月	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定（案）について

(2) 策定組織

■掛川市海岸線地域ビジョン 庁内推進会議

部	課	役職	氏名	関連事項
戦略監			栗田 一吉	全体
総務部	財政課	課長	増田 忍	財政
	資産経営課	課長	村上 将士	財産活用、公共施設マネジメント
企画政策部	企画政策課	課長	深田 康嗣	総合計画
	広報・シティプロモーション課	課長	中山 善文	シティプロモーション、移住定住
協働環境部	文化・スポーツ振興課	課長	山田 京子	スポーツ振興、施設管理
	環境政策課	課長	松永 真也	自然保護、再生可能エネルギー
産業経済部	産業労働政策課	課長	溝口 尚美	産業振興
	観光交流課	課長	高野 留美	観光振興、大東温泉
	農林課	課長	高塚 茂樹	農業振興、サンサンファーム
都市建設部	都市政策課	課長	森長 亨	都市計画
	土木防災課	課長	中山 喜智	市道・公園整備
	基盤整備課	課長	牧野 明	海岸防災林整備、植樹祭
	維持管理課	課長	中山 教之	市道・公園管理、大東マリーナ
危機管理部	危機管理課	課長	赤堀 義幸	危機政策、避難場所
南部行政事務局	大東支所（兼）	事務局長	高柳 和正	南部振興
	大須賀支所	支所長	名倉 宏昭	南部振興
協働環境部		部長	都築 良樹	全体
	生涯学習協働推進課	課長	赤堀 純久	事務局
		主幹	石山 和史	事務局
		主任	戸塚 昭吾	事務局
		主事	竹内 友希	事務局

令和5（2023）年3月現在

掛川市海岸線地域ビジョン

実施計画

令和 5 年 月

〈発行〉

掛川市

〈編集〉

掛川市 協働環境部 生涯学習協働推進課
〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目 1 番地の 1

☎ (0537) 21-1129